

第3章 地域公共交通の課題

1. 課題の整理

四街道市の現状

○人口動向

- ・四街道市の人口、世帯数はともに増加傾向にありますが、令和12（2030）年をピークに人口減少に転じる見込みです。また、令和2（2020）年の老年人口割合は29.2%で、国（28.7%）や県（27.6%）と比較すると、やや高い割合となっています。

→ [将来的な人口減少や高齢化等を見据えた取組](#)

○地域公共交通

- ・鉄道（JR総武本線・成田線）、高速バス（羽田線、東京線）、路線バス、市内循環バス「ヨッピー」、タクシー、グリーンスローモビリティなど多様な地域公共交通が運行されています。

→ [既存の地域公共交通の積極的な活用](#)

- ・鉄道、路線バス、市内循環バス「ヨッピー」、タクシーの利用者数は、令和2（2020）年度以降は増加傾向となっていますが、令和元（2019）年度以前の水準までは回復していない状況です。高速バスの利用者数は、令和2（2020）年度に大きく減少後、横ばい状態で減少したままです。市民の交通手段について、県内や近隣市と比較して自動車への依存度が高く、公共交通機関の分担率は低くなっています。

→ [利用促進に向けた市民意識の醸成](#)

- ・公共交通空白地域の解消を目的として運行中の市内循環バス「ヨッピー」に係る市の財政負担額は、令和5年度が約1,719万円となり、過去10年間で最も大きくなっています。

→ [市内循環バス「ヨッピー」の収支改善](#)

- ・公共交通空白地域の割合は、市域全体で4.7%（人口ベース）ですが、地域別にみると四街道北地域（P91参照）が11.5%となっており、他地域と比較してやや多くなっています。

→ [公共交通空白地域の解消](#)

○上位・関連計画における地域公共交通の位置づけ

四街道市総合計画（第1期基本計画）			四街道市都市計画マスタープラン
成果指標	現状値	目標値	都市整備の方針
交通路線数	18路線	18路線	駅の整備（多様な利用者を考慮したユニバーサルデザインによる整備促進）、駅前広場の利便性向上、持続可能な地域公共交通の構築（駅との接続の円滑化、市民と協働した新たなモビリティ等の活用）
主な取組			
地域公共交通の持続性の確保・利便性の向上、JR四街道駅橋上駅舎自由通路の整備			

→ [広域交通アクセスの拠点となる駅周辺の整備](#)

《 市民アンケート調査 》

- ・ 買い物や通院などの日常生活の移動に困っている人は約4割を占めており、80歳代以上でその割合が高くなっています。

➡ 高齢者の日常生活を支えるための移動支援

- ・ 各公共交通機関の運行サービス満足度では、次の点に課題がみられます。
 鉄道 … バスとの乗り継ぎのしやすさ
 高速バス … 運行本数、運行時間帯、時刻表・路線図などの運行情報案内
 路線バス … 運行本数、運行時間帯、他のバスや鉄道との乗り継ぎのしやすさ
 市内循環バス … 運行本数、運行時間帯
 タクシー … 運賃、営業時間・配車サービスなどの営業情報

➡ 利用者満足度の向上

- ・ 公共交通の取組の方向性については「現状の公共交通を改善すべきだ（ルート・便数・時間帯の改善等）」、公共交通に対する財政負担の考え方については「財政負担を現状程度に維持すべきだ」が最も多くなっています。

➡ 費用対効果の高い地域公共交通

- ・ 公共交通を維持するために自身で利用しようとする前向きな考えの人が66.9%と多く、自家用車の過度な利用に頼らない生活に対する肯定的な意見も約5割を占めています。

➡ 持続可能性を高めるための一人一人の取組

- ・ 公共交通の利用を促進するための効果的な取組について、「路線バスや市内循環バスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布（40.8%）」「自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの拡充（37.4%）」「パソコン・スマートフォンなどへの時刻表、乗継情報などの提供（34.4%）」の順で多くなっています。

➡ わかりやすい運行情報の提供

《 市内循環バス「ヨッピー」利用者アンケート調査 》

- ・ 平日と比較して土休日の利用が少なく、運行時間帯や運行区間により利用の偏りが見受けられます。

➡ 市内循環バス「ヨッピー」の効率的な運行

- ・ 運行サービスの満足度は、「満足」又は「やや満足」が約8割と評価が高いものの、運行本数、運行時間帯、運行時刻の正確さについて、改善を希望する声が多くあります。

➡ 市内循環バス「ヨッピー」の利便性の向上

《 鉄道・路線バス・タクシー利用者アンケート調査 》

- ・ 改善してほしいサービス
 鉄道 … 便数増便（24.8%）、運行時間帯の拡大（13.2%）
 路線バス … 便数増便（65.2%）、運行時間帯の拡大（35.5%）、路線バス同士の乗り継ぎ時間の短縮や運賃割引の導入（11.4%）
 タクシー … タクシー車両数の拡充（50.0%）、タクシー配車アプリによる事前予約サービスの充実（41.7%）、タクシー運賃の割引サービスの導入（33.3%）

➡ 市民ニーズを踏まえたサービスの改善

《 交通事業者アンケート調査 》

- ・利用者数の減少や燃料費の高騰などの影響により、交通事業者の負担が増加しています。バス事業者及びタクシー事業者では、乗務員不足が深刻な課題となっています。

➔ 交通事業者が抱える諸課題への対応

《 関係団体アンケート調査 》

- ・高齢者や障がい者などに配慮した移動サービスの検討が求められています。

➔ 誰もが利用しやすい地域公共交通の実現

- ・地域課題の解決に向けて、福祉や商工など多様な分野と協力して取り組むことが有効との意見があります。

➔ 他分野・多様な主体との連携・協働

《 民生委員・児童委員アンケート調査 》

- ・路線バスの増便や運行時間帯の拡大、市内循環バス「ヨッピー」の運行エリア拡大、グリーンスローモビリティのさらなる活用（他地区への導入）などに関する意見が寄せられています。

➔ 地域の実態に応じた移動環境の整備

《 福祉有償運送事業者アンケート調査 》

- ・運転手不足や研修機会の減少など、福祉有償運送の担い手確保が課題となっています。

➔ 福祉有償運送の安定的な実施



地域公共交通の課題

- ① 市の骨格を形成する鉄道及び路線バスの維持・確保と利用促進
- ② 市内循環バス「ヨッピー」の利便性と効率性の改善
- ③ タクシーの利用促進
- ④ グリーンスローモビリティのサービス検証による他地域への導入拡大検討
- ⑤ 高齢者の移動支援及び公共交通空白地域の解消
- ⑥ 公共交通機関同士の接続と広域アクセスの改善
- ⑦ 市民・来訪者にわかりやすい運行情報の提供
- ⑧ 利用促進に向けた市民意識の醸成
- ⑨ 多様な主体との連携・協働による持続可能性の確保

① 市の骨格を形成する鉄道及び路線バスの維持・確保と利用促進

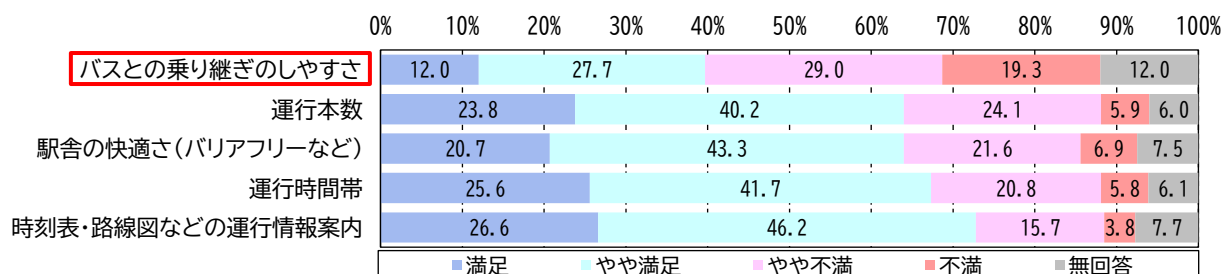
鉄道及び路線バスの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2（2020）年度に大きく減少し、その後は増加傾向となっているものの、令和元（2019）年度以前の水準までは回復していない状況です。

○ 鉄道の維持・確保及び利用促進

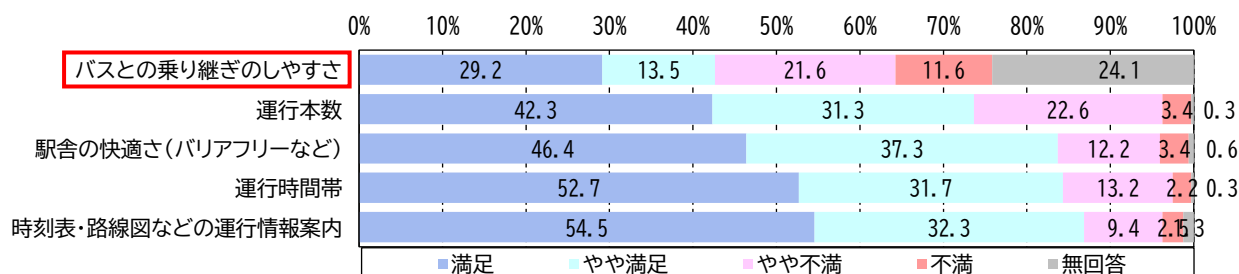
市民アンケート調査によると、約8割以上の方が通勤、通学、買い物及び趣味・娯楽など多様な目的で鉄道を利用しています。運行サービス満足度をみると、市民アンケート調査、鉄道利用者アンケート調査ともに、運行本数、運行時間帯、時刻表・路線図などの運行情報案内、駅舎の快適さ（バリアフリーなど）で満足度が高いものの、バスとの乗り継ぎのしやすさで不満度が高くなっています。

■ 鉄道（JR総武本線）の運行サービス満足度

（市民アンケート調査）



（鉄道利用者アンケート調査）

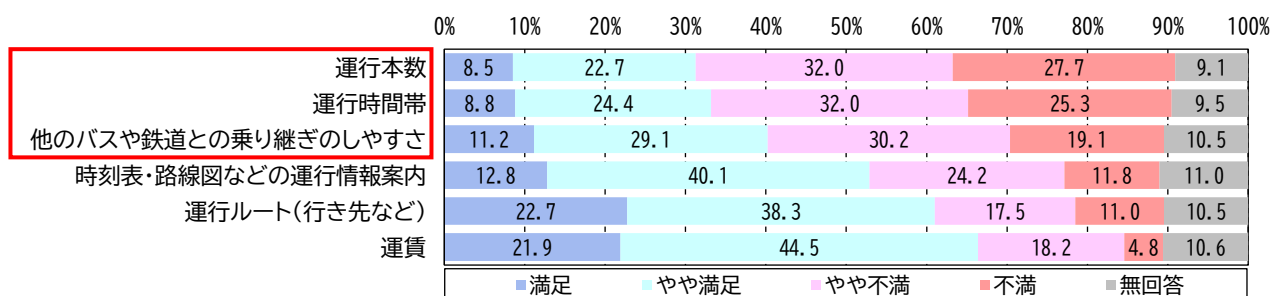


○ 路線バスの維持・確保及び利用促進

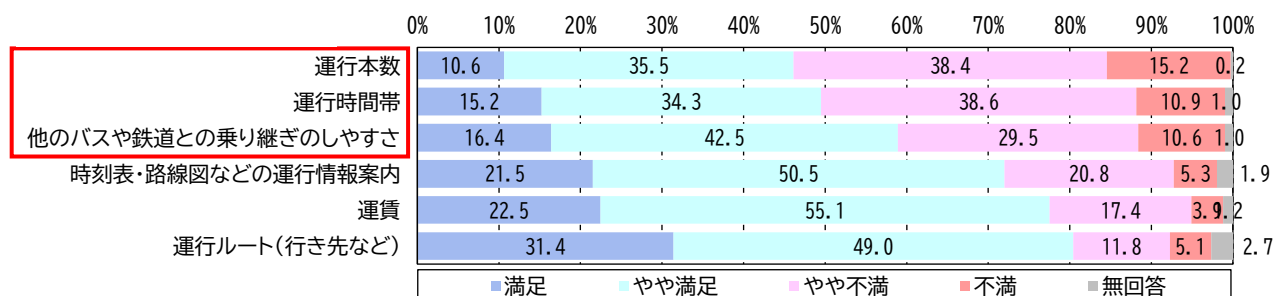
市民アンケート調査によると、約6割の方が路線バスを利用しています。また、路線バス利用者アンケート調査によると、約76.3%の人が週1日以上利用しています。運行サービス満足度をみると、市民アンケート調査、路線バス利用者アンケート調査ともに、運行ルート（行き先など）、運賃、時刻表・路線図などの運行情報案内で満足度が高いものの、運行本数、運行時間帯、他のバスや鉄道との乗り継ぎのしやすさで不満度が高くなっています。

交通事業者アンケート調査では、利用者数の減少による収支の悪化や運転手の不足などの課題が挙げられており、減便や運行時間の縮小が懸念されることから、現行のサービス水準を維持できるよう、路線バスの利用促進や運転手の確保に取り組む必要があります。

■ 路線バスの運行サービス満足度 (市民アンケート調査)



(路線バス利用者アンケート調査)



② 市内循環バス「ヨッピー」の利便性と効率性の改善

市内循環バス「ヨッピー」の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2（2020）年度に大きく減少し、その後は増加傾向となっているものの、令和元（2019）年度以前の水準までは回復していない状況です。また、収支状況は、燃料費の高騰などの影響もあり、悪化している傾向にあります。さらに、令和5（2023）年度の利用実績や市内循環バス「ヨッピー」利用者アンケート調査によると、平日と比較して土休日の利用が少なく、運行ダイヤや運行区間によっても利用に偏りが生じています。

市内循環バス「ヨッピー」利用者アンケート調査によると、運行サービス満足度は約8割と高く、幅広い年代の方が通勤、買い物、通院及び趣味・娯楽など多様な目的で利用していますが、民生委員・児童委員アンケート調査では、運行本数や運行地域の拡大など、運行サービスのさらなる拡充に向けた意見が多く寄せられています。

また、交通事業者アンケート調査では、運転手の不足や車両の老朽化などの課題が挙げられており、市内循環バス「ヨッピー」の運行を維持するにあたっては、利便性と効率性に配慮した運行サービスの見直しや運転手の確保、車両の早期更新に取り組むことが必要です。

③ タクシーの利用促進

タクシーの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2（2020）年度に大きく減少し、その後は増加傾向となっているものの、令和元（2019）年度以前の水準までは回復していない状況です。

市民アンケート調査によると、約4割の方がタクシーを利用しているものの、大半が「年に数日」と低頻度となっています。

タクシー利用者アンケート調査によると、改善してほしいサービスは「タクシー車両数の拡充」が50.0%と最も多く、民生委員・児童委員アンケート調査でも同様の意見が寄せられています。

また、交通事業者アンケート調査では、運転手の高齢化や不足などの課題が挙げられており、タクシーの利用促進や運転手の確保に取り組むことが必要です。

④ グリーンスローモビリティのサービス検証による他地域への導入拡大検討

千代田地区で実証運行中のグリーンスローモビリティの利用者数は、デマンド型乗合交通による運行から定時定路線型の運行に変更したことにより増加していますが、実利用者数の伸びは鈍く、会員の約6割は一度も利用したことがない状況となっています。

民生委員・児童委員アンケート調査では、運行本数や運行地域の拡大、他地区への導入などに関する意見が寄せられています。

グリーンスローモビリティについては、利用実績や利用者ニーズなどを踏まえつつ、持続可能な運行を目指しながら、既存の車両を活用した実施方法の見直しや他地区への導入可能性を検討することが必要です。

⑤ 高齢者の移動支援及び公共交通空白地域の解消

○ 高齢者の移動支援

四街道市の令和2（2020）年の老年人口割合は29.2%と、国（28.7%）や県（27.6%）と比較すると、やや高い割合となっており、四街道市人口ビジョンにおける将来人口のシミュレーションによると、令和27（2045）年には31.7%と、今後20年間で高齢化がさらに進むものと見込んでいます。

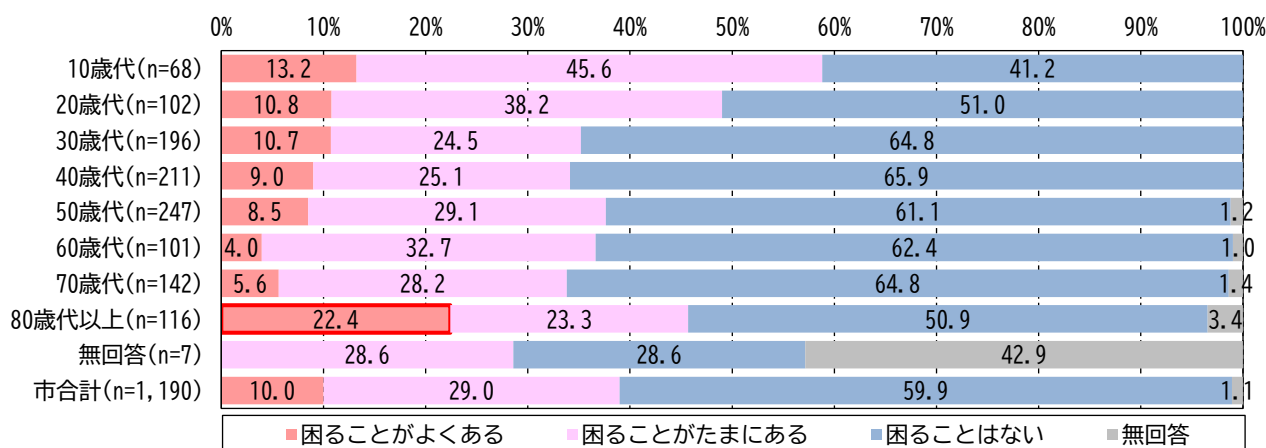
市民アンケート調査や民生委員・児童委員アンケート調査によると、高齢者の移動について「困っている・不便に感じている」という意見が多く寄せられていることから、通院、買い物及び趣味・娯楽など、高齢者の日常生活や社会生活に不可欠な移動の支援に取り組むことが必要です。

○ 公共交通空白地域の解消

公共交通空白地域（鉄道駅より半径800m以遠、バス停より半径400m以遠）は、市全域で4.7%（人口ベース）を占め、亀崎・栗山・内黒田・山梨・中台・吉岡など各地に点在しています。地域別では、四街道北地域が11.5%と他地域と比較して多い状況です。

市内の公共交通機関は、鉄道駅周辺や千代田団地、みそら団地など人口が集中している地域を中心に比較的充実しているものの、一部の地域では路線バスの利用が困難・不便であるなど移動環境に格差が生じているため、公共交通空白地域の解消に取り組むことが必要です。

■ 年齢別外出する時の困り具合（市民アンケート調査）



⑥ 公共交通機関同士の接続と広域アクセスの改善

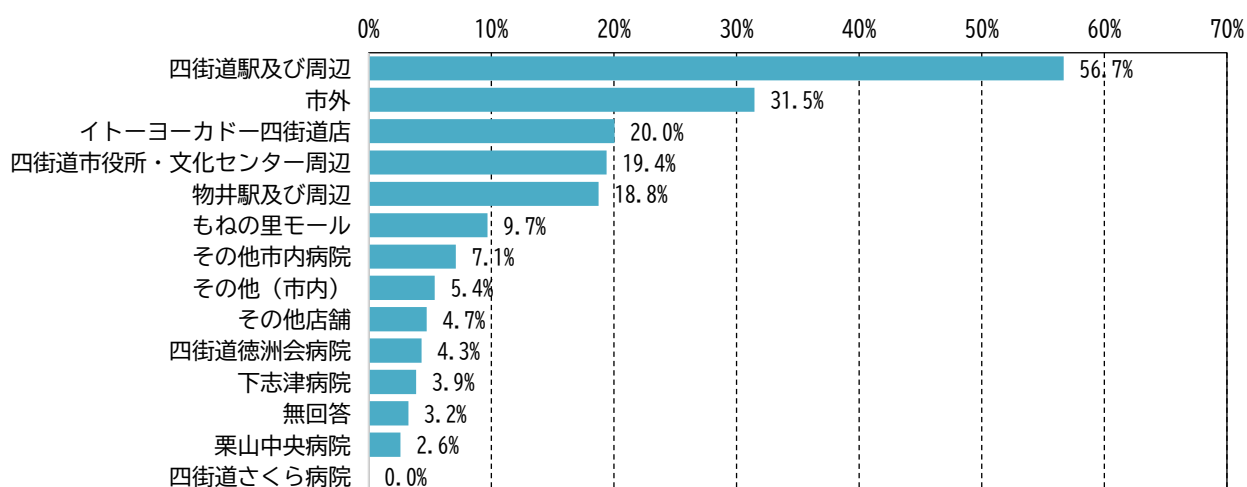
市内の公共交通機関は、鉄道、高速バス、路線バス、市内循環バス「ヨッピー」、タクシー及びグリーンスローモビリティなど多様な地域公共交通が運行されています。

市民アンケート調査や鉄道・路線バス利用者アンケート調査によると、公共交通機関同士の乗り継ぎのしやすさで不満度が高くなっており、地域公共交通全体の満足度を高めるためには、既存のサービスを有効に活用しつつ、それぞれの公共交通機関が機能を最大限に発揮できるよう、相互の連携強化を図ることが求められています。

また、市民アンケート調査によると、外出時に困ることが多い行き先として、「市外」が31.5%と「四街道駅及び周辺」に次いで高くなっています。

日常生活における「市外」への移動実態及び移動ニーズを考慮した上で、広域アクセスにおける乗り継ぎの負担軽減、運行情報案内の充実、待合環境の改善などにより、交通結節点の機能強化や利便性の高い地域公共交通ネットワークの形成に取り組むことが必要です。

■ 困ることが多い行き先（市民アンケート調査）



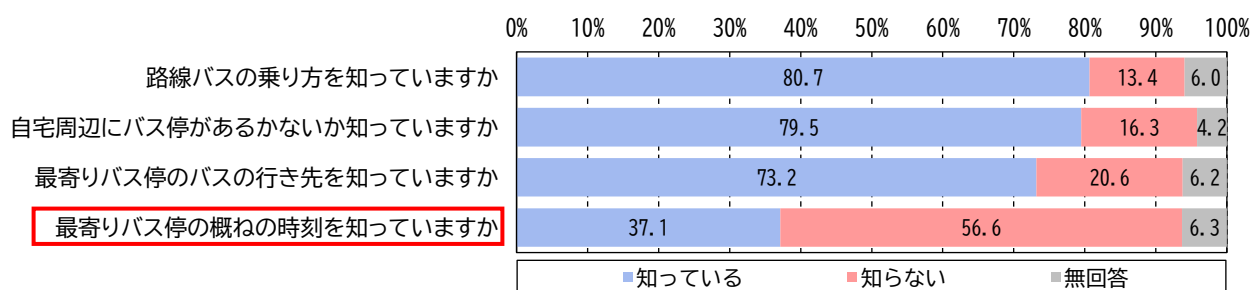
⑦ 市民・来訪者にわかりやすい運行情報の提供

市民アンケート調査によると、路線バスを週に1日以上利用している方は15.1%と少なく、自宅周辺のバス停の有無や行き先、路線バスの乗り方に関する認知度は高いものの、「最寄りのバス停の概ねの時刻」を知っている人の割合は低い状況となっています。

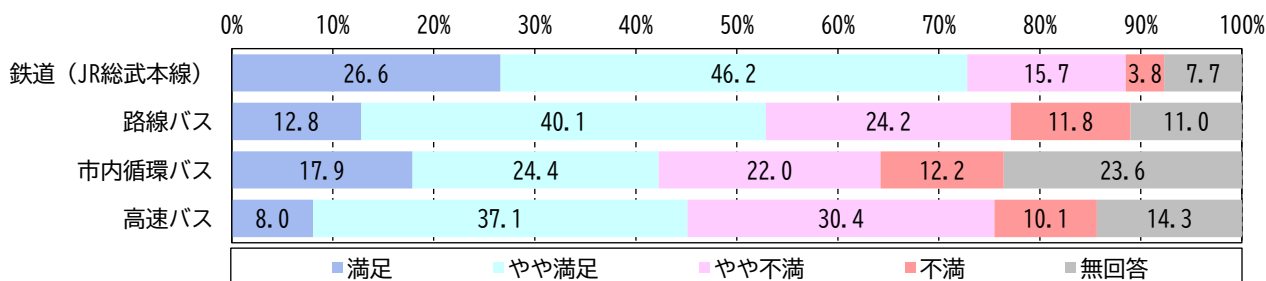
市内の公共交通機関に関する情報案内は、各交通事業者がホームページへ掲載するなどの方法により発信していますが、市民アンケート調査によると、時刻表・路線図などの運行情報案内に対する満足度は、鉄道以外で「不満」又は「やや不満」の回答が多くなっています。

また、公共交通の利用を促進するための効果的な取組では、「路線バスや市内循環バスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布」が40.8%と最も多くなっていることから、わかりやすい運行情報の提供・充実に取り組むことが必要です。

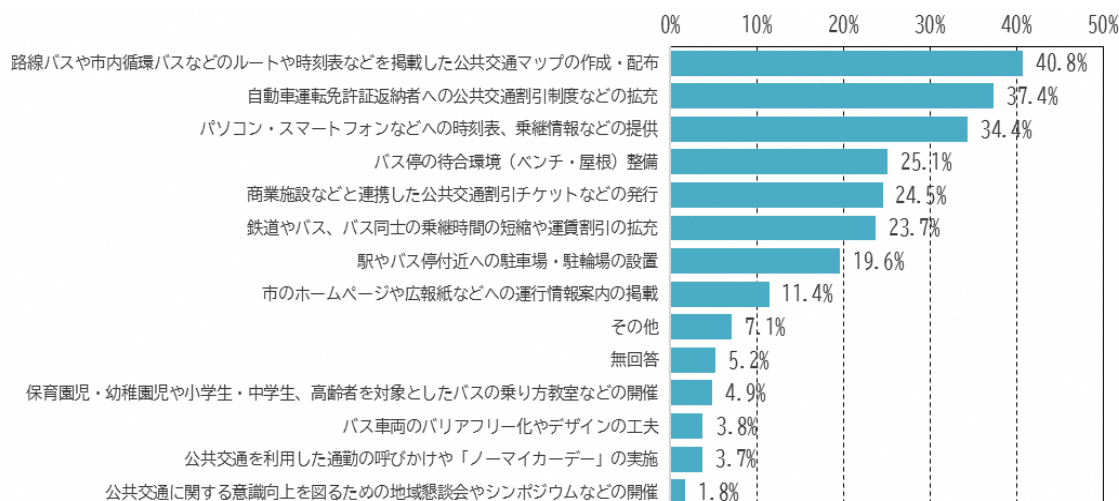
■ 自宅周辺で運行中の路線バスの認知度（市民アンケート調査）



■ 運行サービス満足度（時刻表・路線図などの運行情報案内）（市民アンケート調査）



■ 公共交通の利用を促進するための効果的な取組（市民アンケート調査）



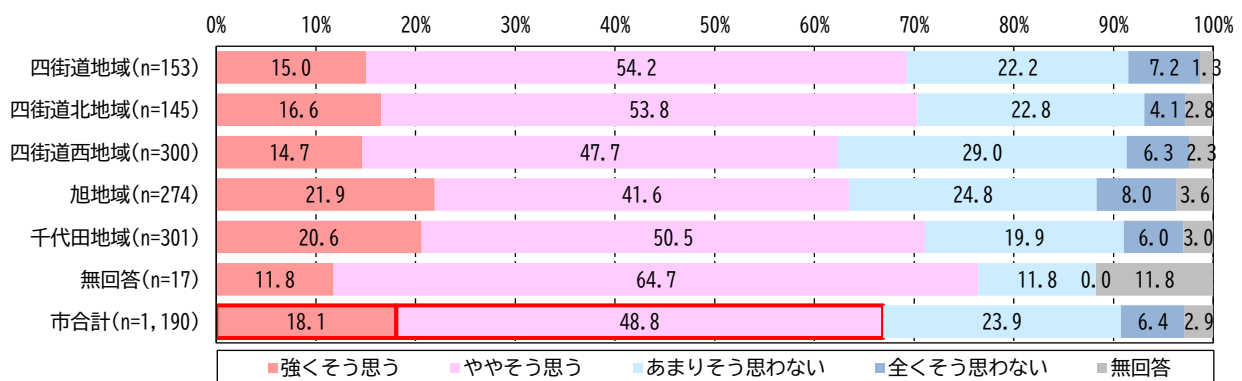
⑧ 利用促進に向けた市民意識の醸成

利用者の減少、運転手の不足、燃料費の高騰など、交通事業者を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっており、交通事業者アンケート調査においても、経営状況の改善に向けたコストダウンは避けられない状況であると指摘されています。

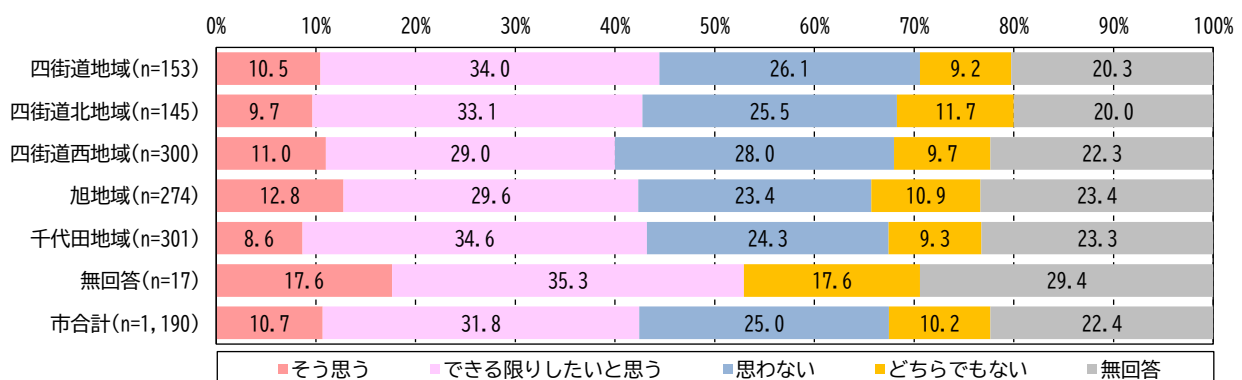
一方で、市民アンケート調査によると、公共交通を維持するために自身で利用しようとする考え方について、6割以上の方が「強くそう思う」又は「ややそう思う」と、また、自家用車の過度な利用に頼らない生活の意向について、約5割の方が「そう思う」又は「できる限りしたいと思う」と前向きな回答をしています。

地域公共交通を今後も維持していくためには、運行を支える市民の理解と協力が不可欠であるため、地域公共交通の利用促進に向けて、より一層の市民意識の醸成に取り組む必要があります。

■ 公共交通を維持するために自身で利用しようとする考え方（市民アンケート調査）



■ 自家用車の過度な利用に頼らない生活の意向（市民アンケート調査）



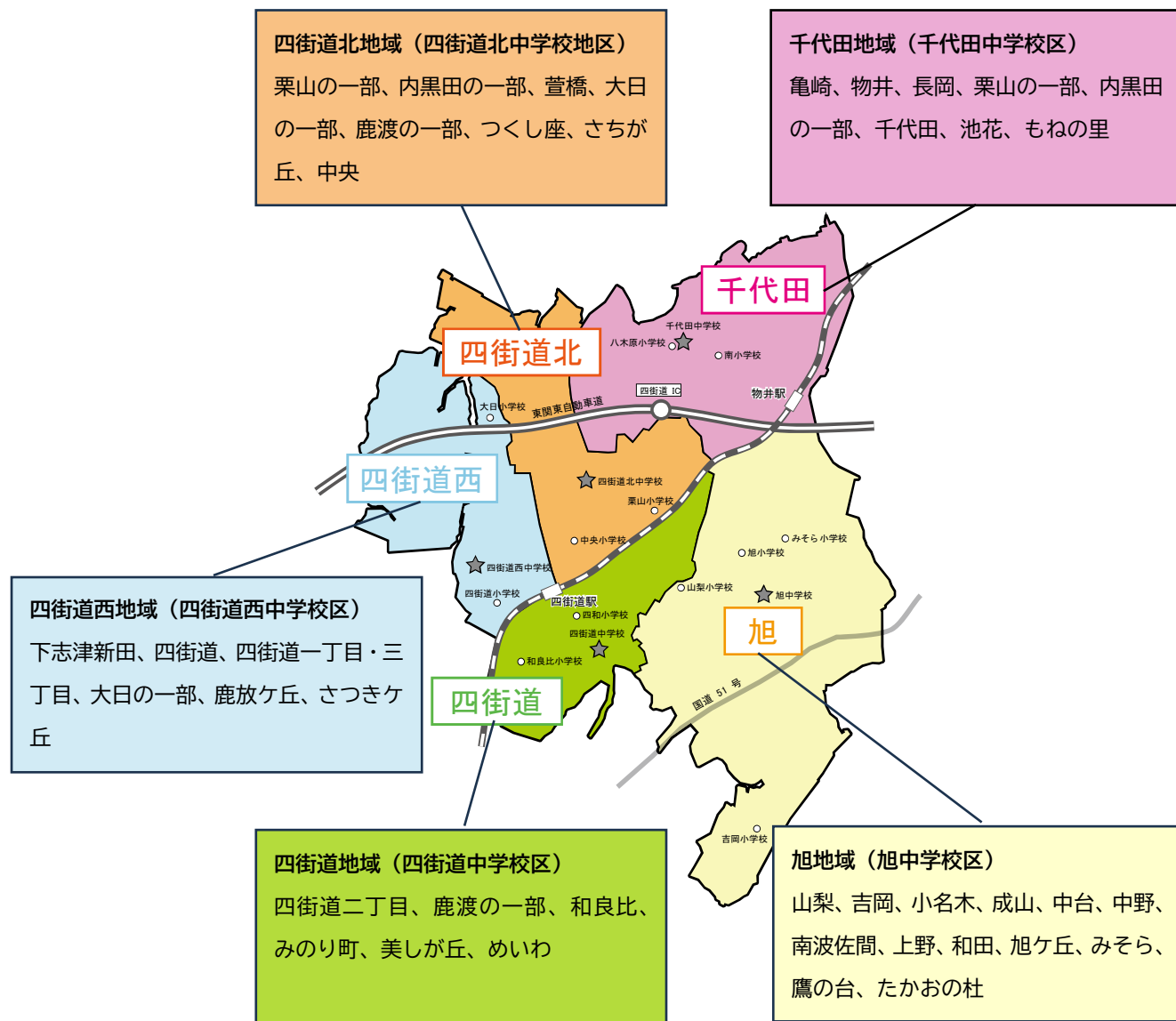
⑨ 多様な主体との連携・協働による持続可能性の確保

地域公共交通の課題を解決するためには、市民（地域）、交通事業者、行政など多様な主体が役割分担を図りながら、それぞれが持つ様々な強みを活かし合うことが大切です。

四街道市のポテンシャルを最大限引き出すよう、多様な主体と連携・協力した共創のまちづくりにより、地域の実情に応じた持続可能な地域公共交通の実現に取り組む必要があります。

2. 地区別公共交通カルテ

「四街道市都市計画マスタープラン」における「地区別構想」の考え方に基づき、中学校区を単位とする5つの地域ごとに現状を整理しました。



出典：四街道市都市計画マスタープラン

■ 四街道市都市計画マスタープラン（抜粋）

第3章 地域別構想

1. 地域の設定

地域の設定については、住民に身近な地域別構想とするため、住居表示等にとらわれず、住民が意識している生活圏のまとまり（小学校区、中学校区、自治会等）を参考にすることが重要とされています。

本市では、中学校区ごとに中学校地区連絡協議会を設置し、市民と行政の意見交換の場が設定され、広義的なまちづくりが検討されています。

このようなことを踏まえ、地域の設定は、以下に示す中学校区を単位とした五つの地域を設定します。

地区別公共交通カルテ① — 四街道地域 —

地区概況

- 市の南西に位置し、地区人口25,389人で、総人口の26.3%を占める。

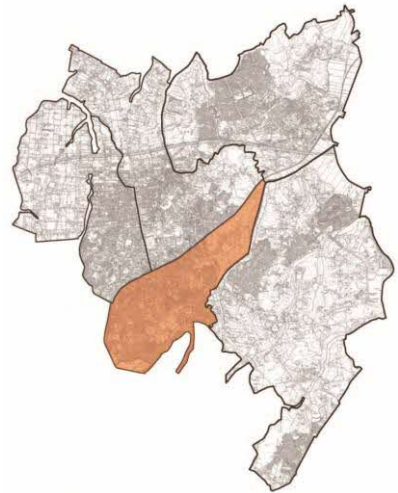
【令和6年10月住民基本台帳より】

- 個人の自家用車所有率は85.0%（うち自分が自由に使える自動車を所有75.8%）であり、自家用車を持っていない方は14.4%である。

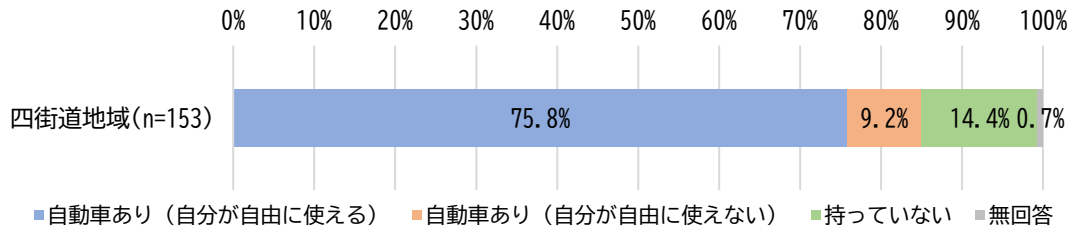
【市民アンケート調査より】

- 自動車運転免許証の保有率は82.4%、バイク・原付運転免許証の保有率は0.7%、免許証の非保有率は15.7%（うち返納済は3.3%）である。

【市民アンケート調査より】

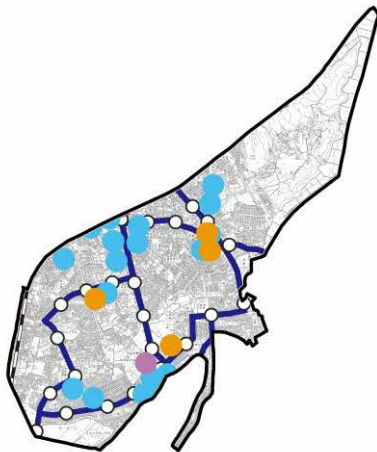


■ 四街道地域の自家用車所有状況

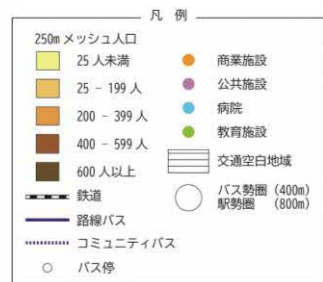
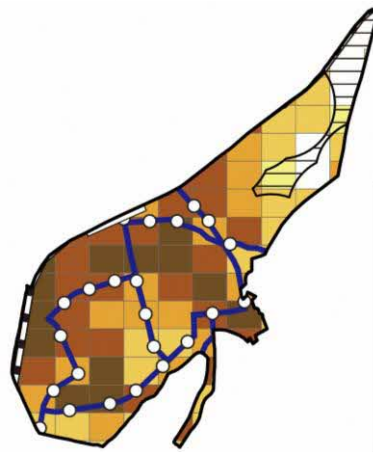


都市機能立地状況

<主な施設配置図>



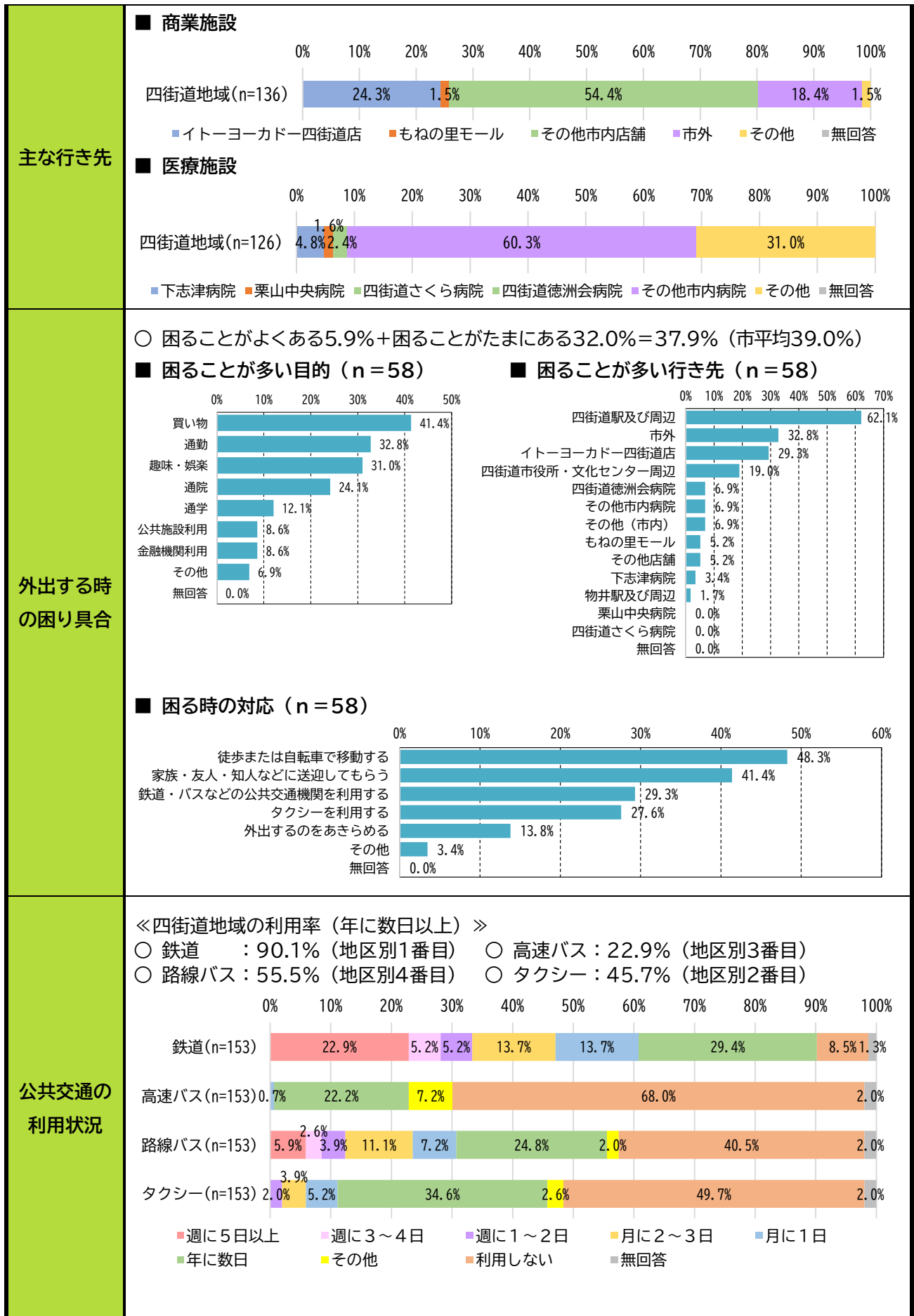
<人口分布と交通空白地域>



- 商業施設 … MEGAドン・キホーテ、ヤックス、せんどう、ケーヨーデイツー
- 医療施設 … あさひクリニック、あしざわ眼科クリニック、木村内科、下野医院、潤生堂医院、そはら整形外科、はやし耳鼻咽喉科、めいわクリニック、めいわこどもクリニック、めいわ皮膚科クリニック、四街道すくすくこどもクリニック、四街道中央眼科、四街道まごころクリニック、四街道メンタルクリニック
- 公共施設 … 南部総合福祉センターわろうべの里

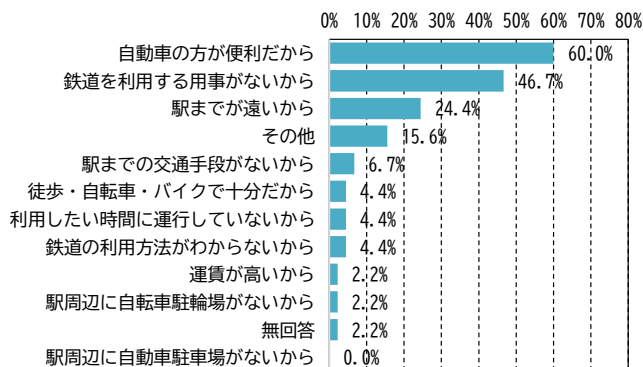
公共交通

- JR総武本線・成田線（四街道駅）
- 高速バス（羽田線）
- 路線バス（めいわ線、都賀四街道線、吉岡線、総合公園線、みそら団地線）

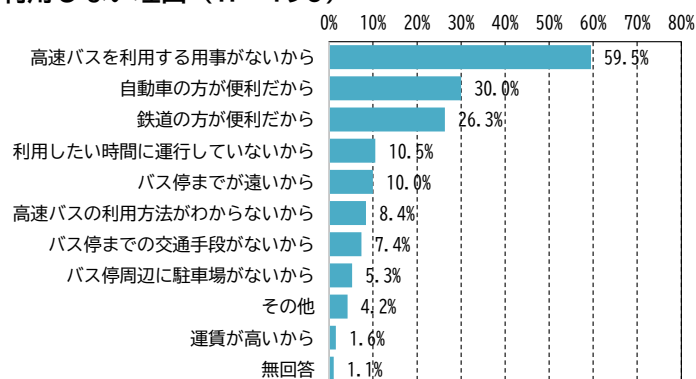


公共交通を
利用しない
理由

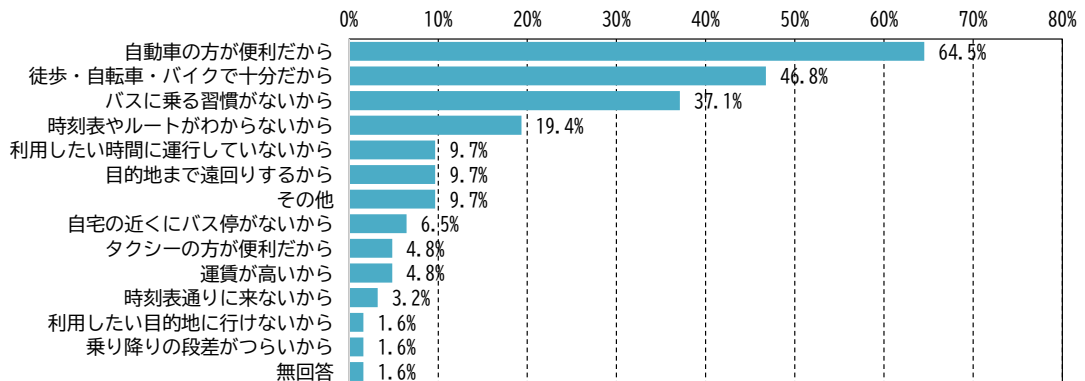
■ 鉄道を利用しない理由（n = 45）



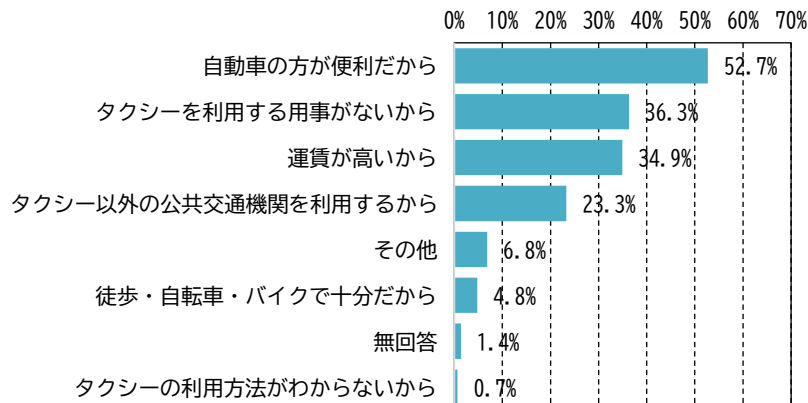
■ 高速バスを利用しない理由（n = 190）

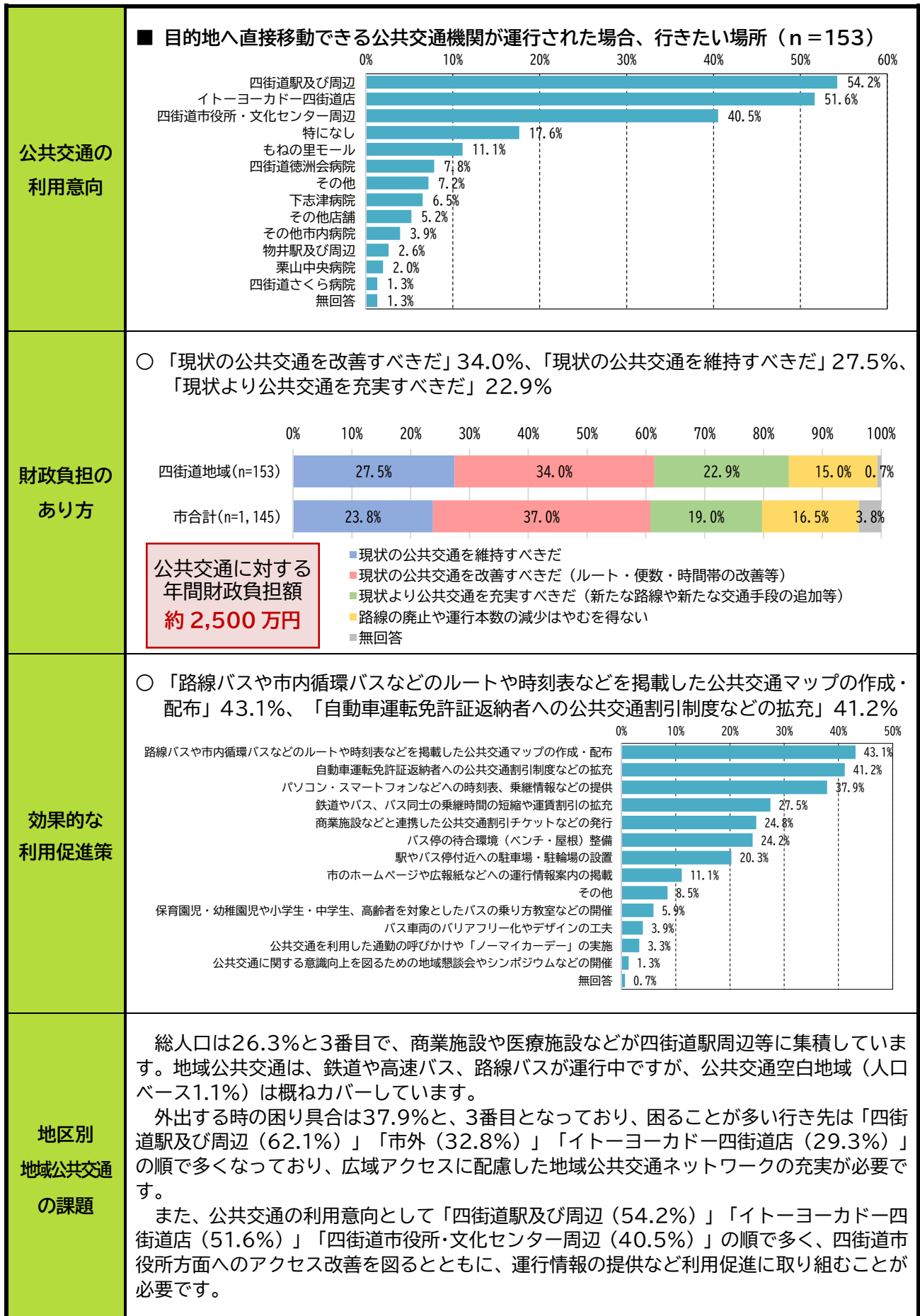


■ 路線バスを利用しない理由（n = 62）



■ タクシーを利用しない理由（n = 146）





地区別公共交通カルテ② - 四街道北地域 -

地区概況

- 市の北に位置し、地区人口34,888人で、総人口の36.2%を占める。

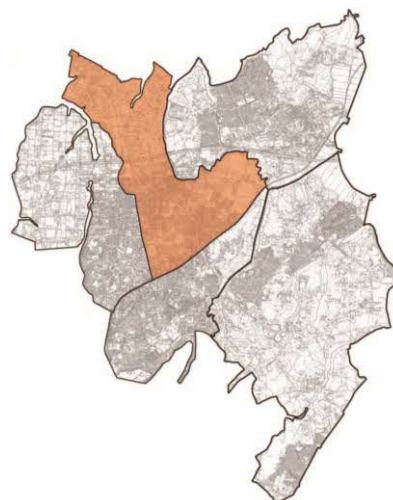
【令和6年10月住民基本台帳より】

- 個人の自家用車所有率は77.2%（うち自分が自由に使える自動車を持有65.5%）であり、自家用車を持っていない方は21.4%である。

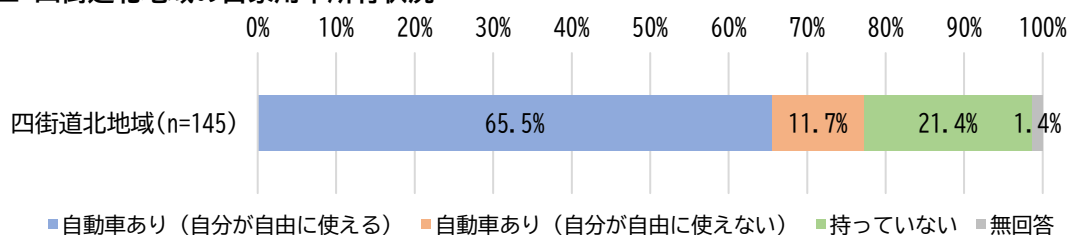
【市民アンケート調査より】

- 自動車運転免許証の保有率は80.0%、バイク・原付運転免許証の保有率は0.7%、免許証の非保有率は15.9%（うち返納済は2.1%）である。

【市民アンケート調査より】



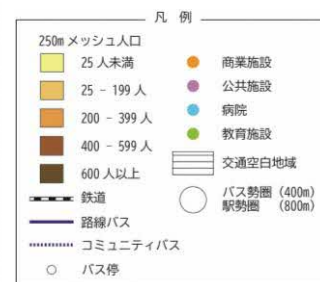
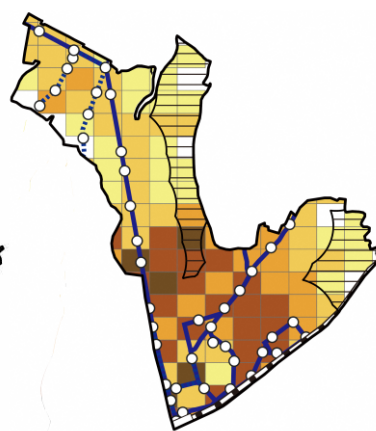
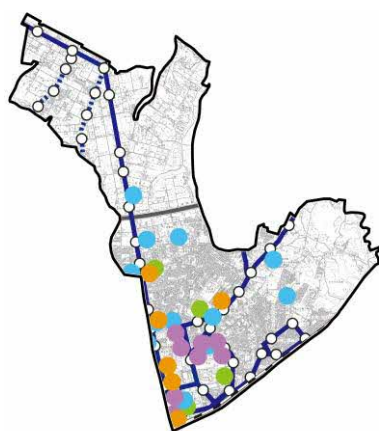
■ 四街道北地域の自家用車所有状況



都市機能立地状況

<主な施設配置図>

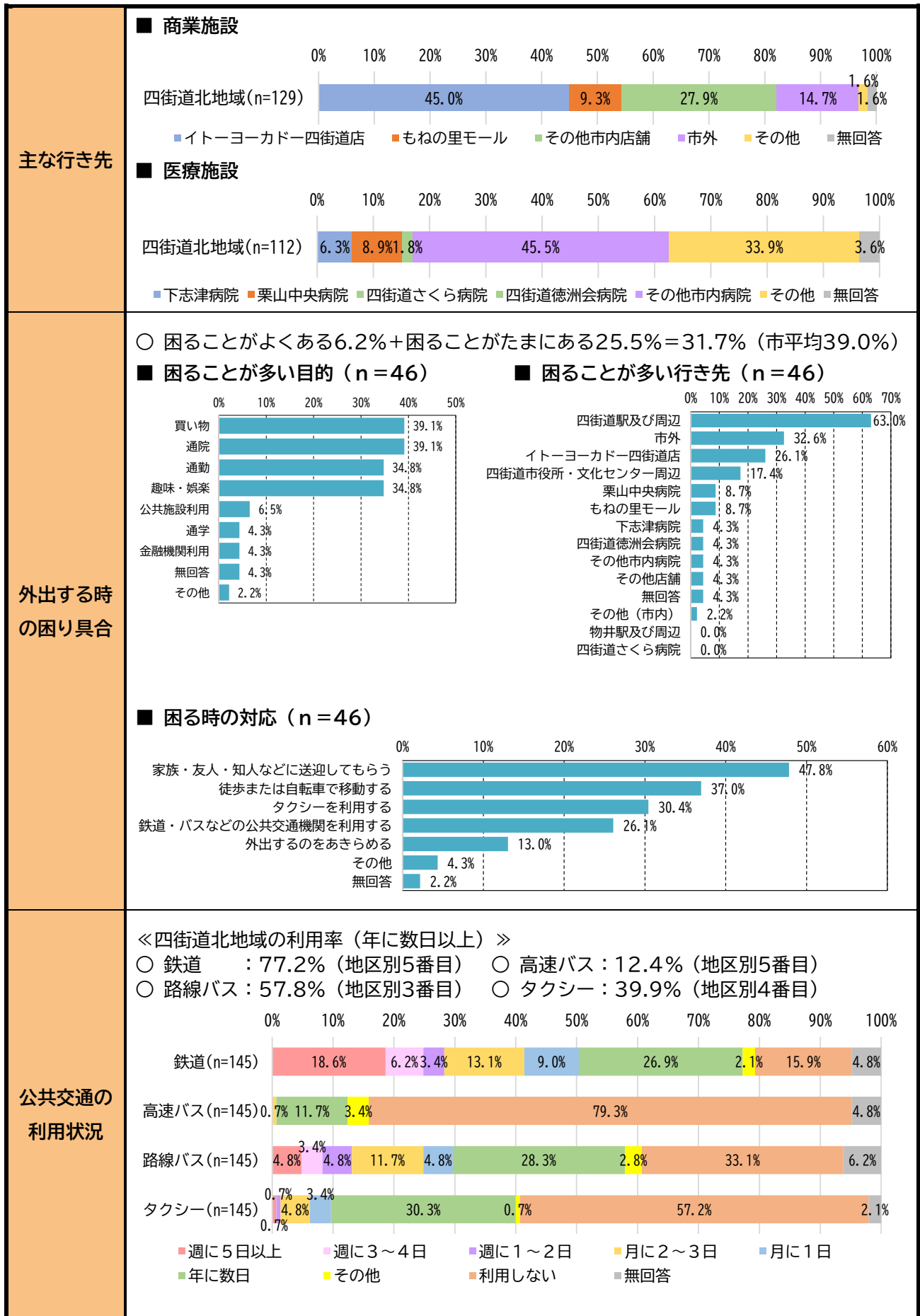
<人口分布と交通空白地域>



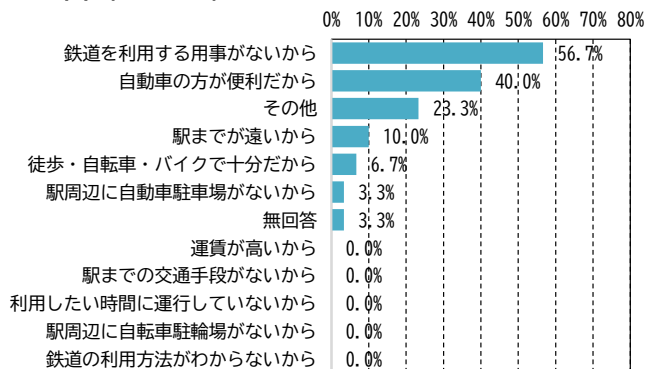
- 商業施設 … M2プラザ、フォーレ四街道駅前ビル、イトーヨーカドー、テックランド、BOOKOFF、ドラッグコスモス
- 医療施設 … 四街道さくら病院、栗山中央病院、下志津病院、こばやしクリニック、柴眼科、島田耳鼻咽喉科医院、そうクリニック、つくし座クリニック、はるかぜ診療所、やまぐち内科・糖尿病クリニック
- 公共施設 … 四街道市役所・第二庁舎、保健センター、図書館、文化センター、青少年育成センター、企業庁舎、総合福祉センター
- 教育施設 … 四街道特別支援学校、千葉盲学校、四街道高等学校、四街道北高等学校

公共交通

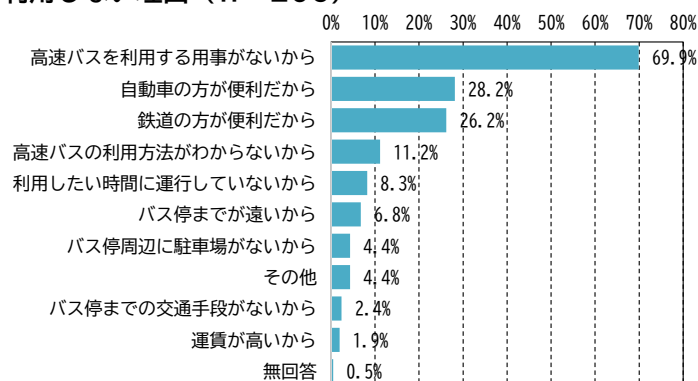
- JR総武本線・成田線（四街道駅）
- 高速バス（羽田線）
- 路線バス（長沼線、千葉四街道線、下志津線、四勝線、大日線、バードヒル池花線、千代田団地線、臼井線、つくし座線、みそら団地線）
- 市内循環バス「ヨッピー」



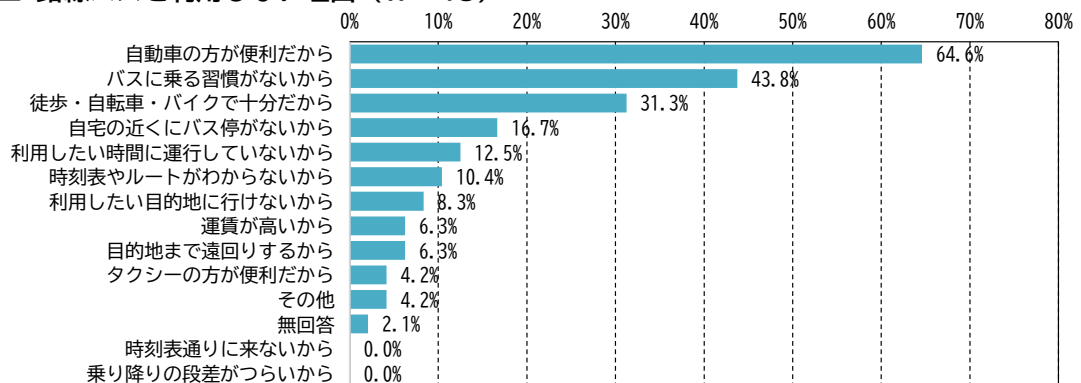
■ 鉄道を利用しない理由（n=30）



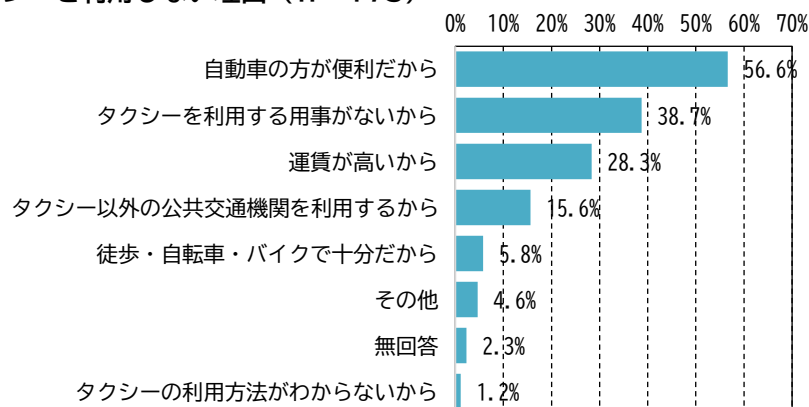
■ 高速バスを利用しない理由（n=206）

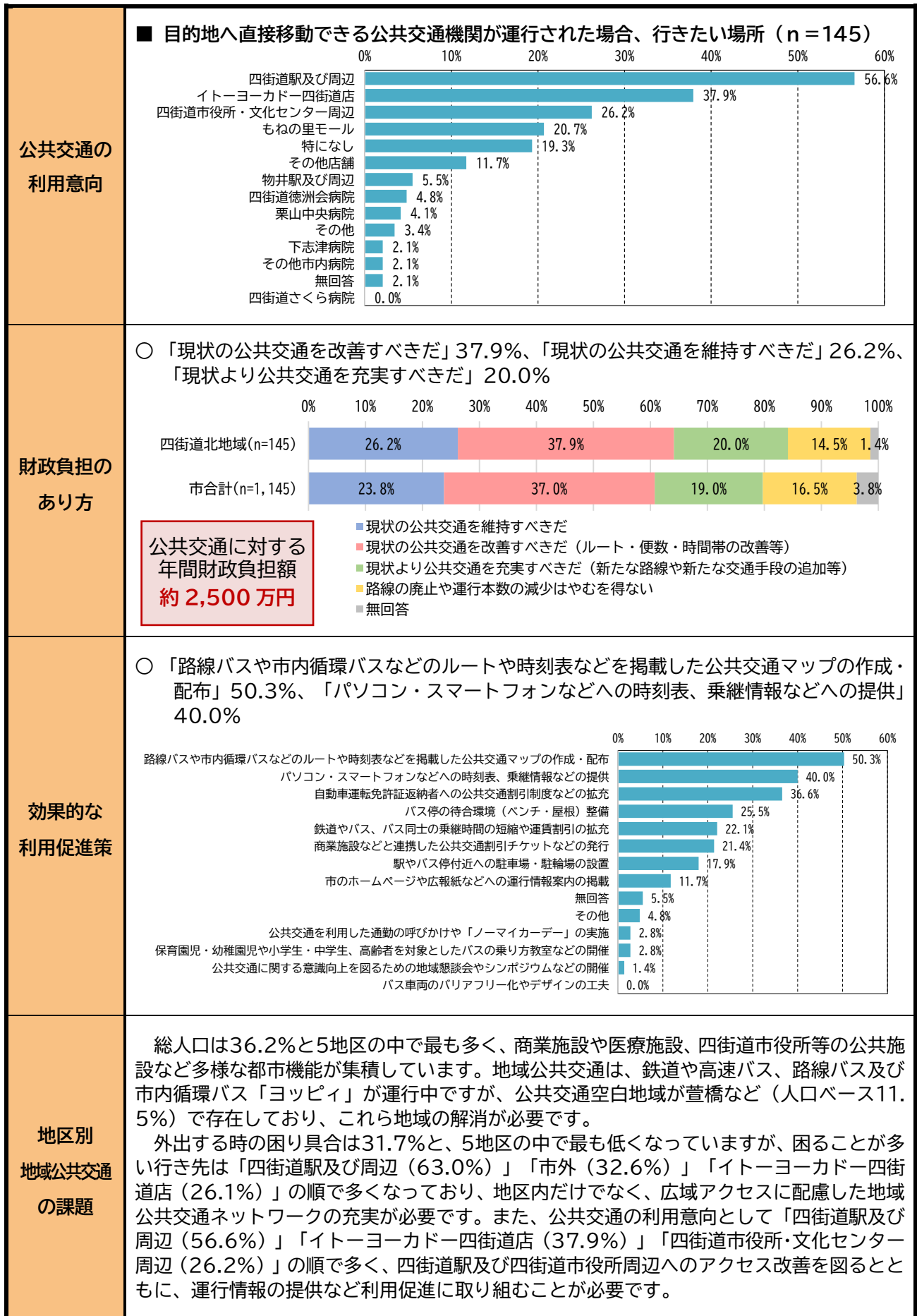


■ 路線バスを利用しない理由（n=48）



■ タクシーを利用しない理由（n=173）





地区別公共交通カルテ③ - 四街道西地域 -

地区概況

- 市の西に位置し、地区人口29,074人で、総人口の30.2%を占める。

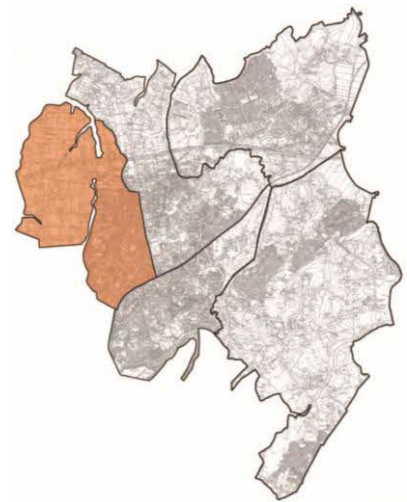
【令和6年10月住民基本台帳より】

- 個人の自家用車所有率は77.6%（うち自分が自由に使える自動車を所有63.3%）であり、自家用車を持っていない方は22.0%である。

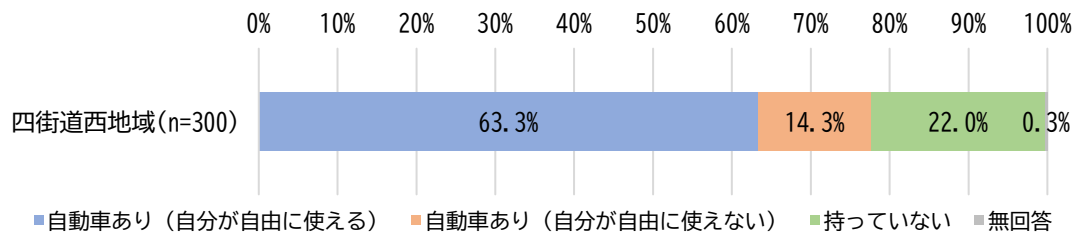
【市民アンケート調査より】

- 自動車運転免許証の保有率は78.3%、バイク・原付運転免許証の保有率は0.0%、免許証の非保有率は20.3%（うち返納済は4.7%）である。

【市民アンケート調査より】



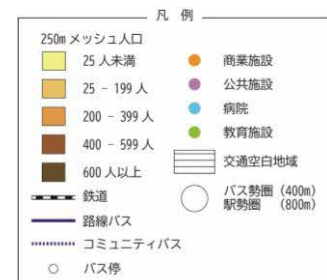
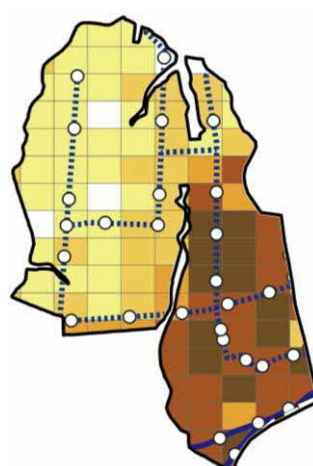
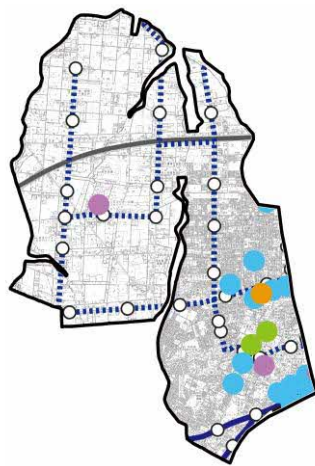
■ 四街道西地域の自家用車所有状況



市機能立地状況

<主な施設配置図>

<人口分布と交通空白地域>



- 商業施設 … わくわく広場

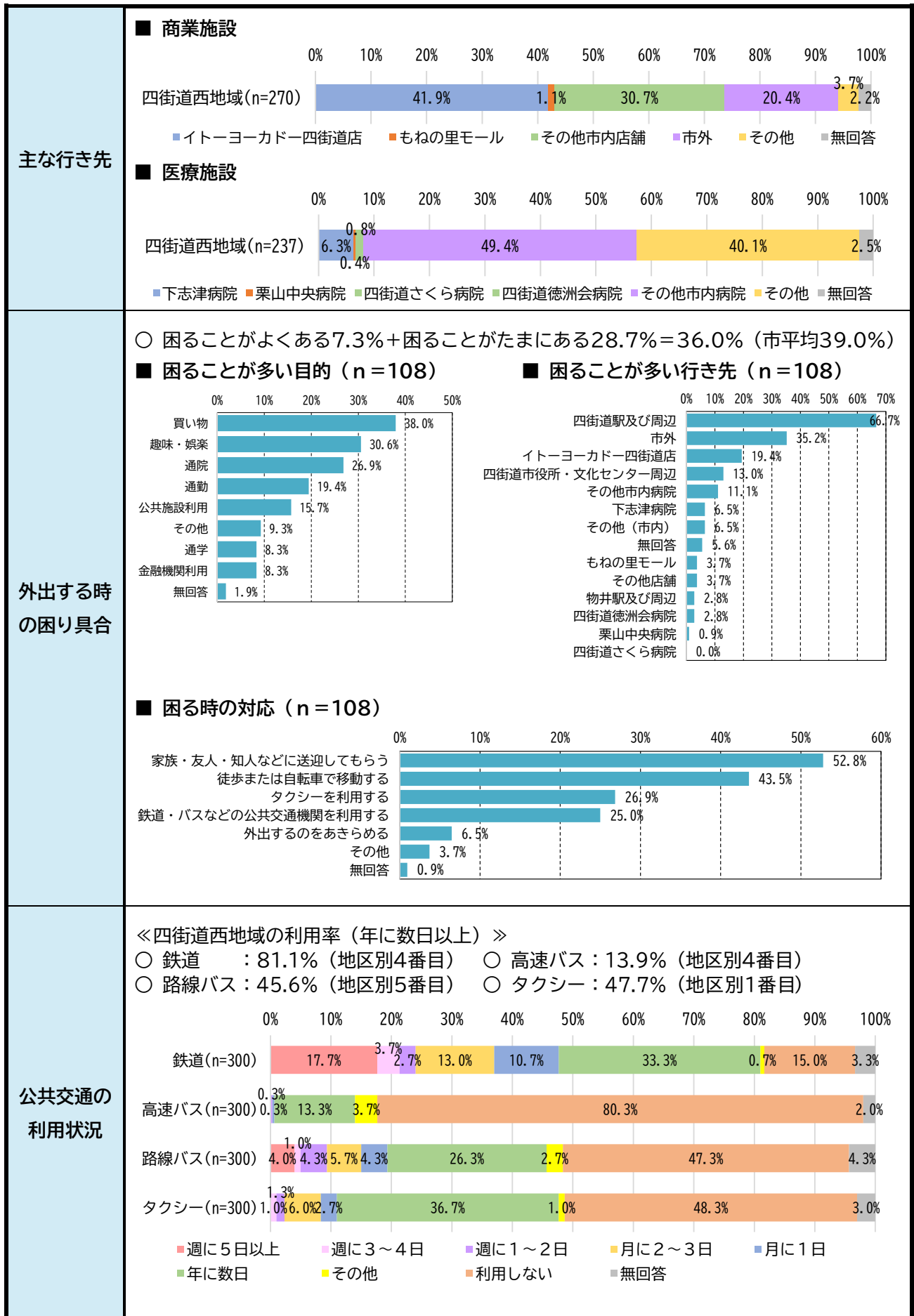
- 医療施設 … 秋草産婦人科医院、いしげ耳鼻咽喉科医院、かすや内科クリニック、桜ヶ丘クリニック、四街道脳神経内科・大日五差路リハビリテーション科さくら街道クリニック、徳重整形外科、藤原小児科、水鏡塾誠クリニック、松島皮膚科医院、四街道駅クリニック、よつかいどう泌尿器科クリニック、四街道森山クリニック、よつかいどう眼科

- 公共施設 … 四街道公民館、鹿放ヶ丘ふれあいセンター

- 教育施設 … 千葉敬愛高等学校、愛国学園大学附属四街道高等学校

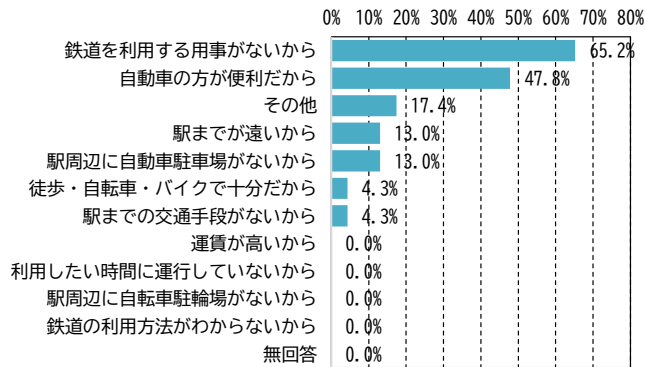
公共交通

- JR総武本線・成田線（四街道駅）
- 高速バス（羽田線）
- 路線バス（長沼線、千葉四街道線）
- 市内循環バス「ヨッピー」

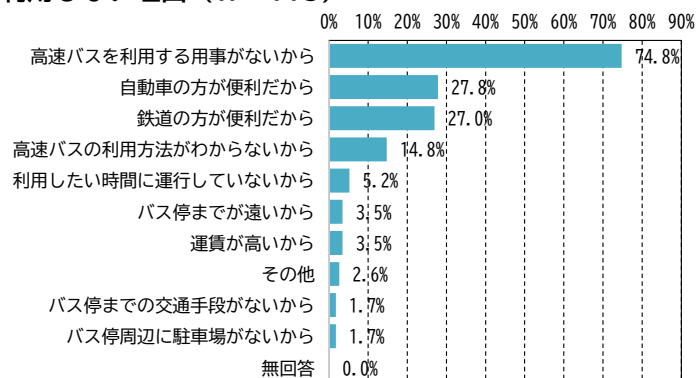


公共交通を
利用しない
理由

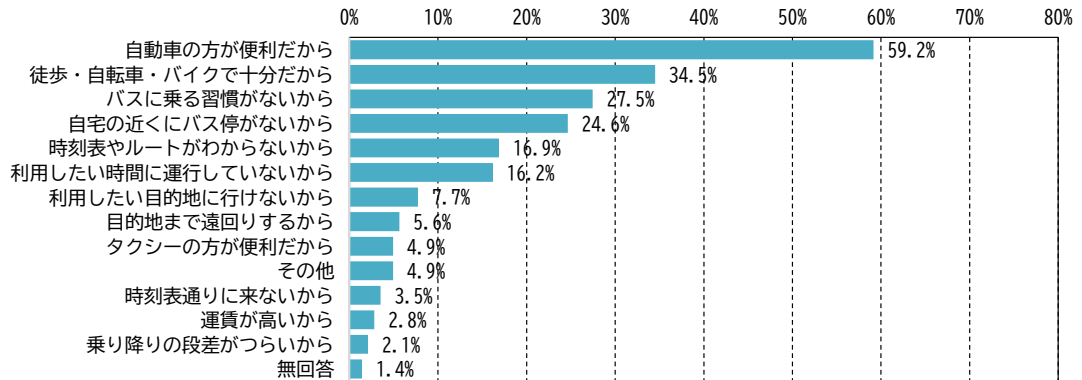
■ 鉄道を利用しない理由（n = 23）



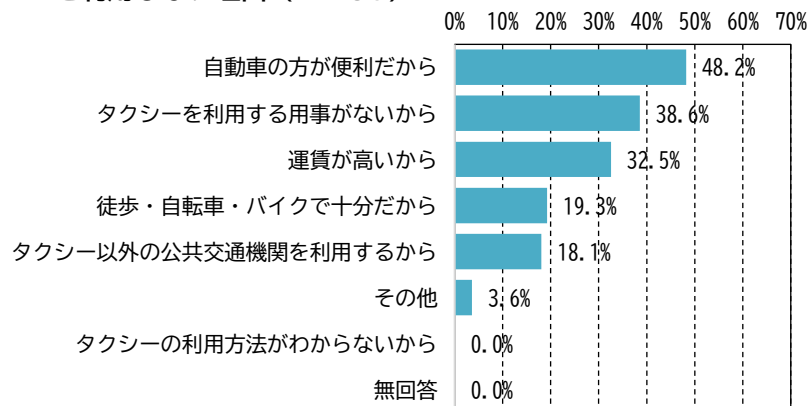
■ 高速バスを利用しない理由（n = 115）



■ 路線バスを利用しない理由（n = 142）



■ タクシーを利用しない理由（n = 83）



	■ 目的地へ直接移動できる公共交通機関が運行された場合、行きたい場所（n = 300） <table><tr><th>目的地</th><th>割合</th></tr><tr><td>四街道駅及び周辺</td><td>50.3%</td></tr><tr><td>イトーヨーカドー四街道店</td><td>37.3%</td></tr><tr><td>四街道市役所・文化センター周辺</td><td>28.0%</td></tr><tr><td>特になし</td><td>23.0%</td></tr><tr><td>もねの里モール</td><td>8.3%</td></tr><tr><td>四街道徳洲会病院</td><td>6.0%</td></tr><tr><td>その他</td><td>6.0%</td></tr><tr><td>物井駅及び周辺</td><td>5.7%</td></tr><tr><td>下志津病院</td><td>5.7%</td></tr><tr><td>その他店舗</td><td>5.0%</td></tr><tr><td>その他市内病院</td><td>4.0%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>3.7%</td></tr><tr><td>栗山中央病院</td><td>1.7%</td></tr><tr><td>四街道さくら病院</td><td>0.3%</td></tr></table>	目的地	割合	四街道駅及び周辺	50.3%	イトーヨーカドー四街道店	37.3%	四街道市役所・文化センター周辺	28.0%	特になし	23.0%	もねの里モール	8.3%	四街道徳洲会病院	6.0%	その他	6.0%	物井駅及び周辺	5.7%	下志津病院	5.7%	その他店舗	5.0%	その他市内病院	4.0%	無回答	3.7%	栗山中央病院	1.7%	四街道さくら病院	0.3%
目的地	割合																														
四街道駅及び周辺	50.3%																														
イトーヨーカドー四街道店	37.3%																														
四街道市役所・文化センター周辺	28.0%																														
特になし	23.0%																														
もねの里モール	8.3%																														
四街道徳洲会病院	6.0%																														
その他	6.0%																														
物井駅及び周辺	5.7%																														
下志津病院	5.7%																														
その他店舗	5.0%																														
その他市内病院	4.0%																														
無回答	3.7%																														
栗山中央病院	1.7%																														
四街道さくら病院	0.3%																														
公共交通の利用意向																															
	○ 「現状の公共交通を改善すべきだ」34.7%、「現状の公共交通を維持すべきだ」24.3%、「現状より公共交通を充実すべきだ」18.3% <table><tr><th>対象</th><th>現状の公共交通を維持すべきだ</th><th>現状の公共交通を改善すべきだ（ルート・便数・時間帯の改善等）</th><th>現状より公共交通を充実すべきだ（新たな路線や新たな交通手段の追加等）</th><th>路線の廃止や運行本数の減少はやむを得ない</th><th>無回答</th></tr><tr><td>四街道西地域(n=300)</td><td>24.3%</td><td>34.7%</td><td>18.3%</td><td>17.0%</td><td>5.7%</td></tr><tr><td>市合計(n=1,145)</td><td>23.8%</td><td>37.0%</td><td>19.0%</td><td>16.5%</td><td>3.8%</td></tr></table> 公共交通に対する 年間財政負担額 約 2,500 万円 ■ 現状の公共交通を維持すべきだ ■ 現状の公共交通を改善すべきだ（ルート・便数・時間帯の改善等） ■ 現状より公共交通を充実すべきだ（新たな路線や新たな交通手段の追加等） ■ 路線の廃止や運行本数の減少はやむを得ない ■ 無回答	対象	現状の公共交通を維持すべきだ	現状の公共交通を改善すべきだ（ルート・便数・時間帯の改善等）	現状より公共交通を充実すべきだ（新たな路線や新たな交通手段の追加等）	路線の廃止や運行本数の減少はやむを得ない	無回答	四街道西地域(n=300)	24.3%	34.7%	18.3%	17.0%	5.7%	市合計(n=1,145)	23.8%	37.0%	19.0%	16.5%	3.8%												
対象	現状の公共交通を維持すべきだ	現状の公共交通を改善すべきだ（ルート・便数・時間帯の改善等）	現状より公共交通を充実すべきだ（新たな路線や新たな交通手段の追加等）	路線の廃止や運行本数の減少はやむを得ない	無回答																										
四街道西地域(n=300)	24.3%	34.7%	18.3%	17.0%	5.7%																										
市合計(n=1,145)	23.8%	37.0%	19.0%	16.5%	3.8%																										
財政負担のあり方																															
	○ 「路線バスや市内循環バスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布」42.3%、「自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの拡充」40.3% <table><tr><th>施策</th><th>割合</th></tr><tr><td>路線バスや市内循環バスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布</td><td>42.3%</td></tr><tr><td>自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの拡充</td><td>40.3%</td></tr><tr><td>パソコン・スマートフォンなどへの時刻表、乗継情報などの提供</td><td>34.3%</td></tr><tr><td>商業施設などと連携した公共交通割引チケットなどの発行</td><td>28.0%</td></tr><tr><td>バス停の待合環境（ベンチ・屋根）整備</td><td>27.7%</td></tr><tr><td>駅やバス停付近への駐車場・駐輪場の設置</td><td>21.7%</td></tr><tr><td>鉄道やバス、バス同士の乗継時間の短縮や運賃割引の拡充</td><td>16.7%</td></tr><tr><td>市のホームページや広報紙などへの運行情報案内の掲載</td><td>12.3%</td></tr><tr><td>保育園児・幼稚園児や小学生・中学生、高齢者を対象としたバスの乗り方教室などの開催</td><td>6.7%</td></tr><tr><td>バス車両のバリアフリー化やデザインの工夫</td><td>6.0%</td></tr><tr><td>その他</td><td>5.7%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>4.7%</td></tr><tr><td>公共交通を利用した通勤の呼びかけや「ノーマイカーデー」の実施</td><td>3.7%</td></tr><tr><td>公共交通に関する意識向上を図るための地域懇談会やシンポジウムなどの開催</td><td>1.7%</td></tr></table>	施策	割合	路線バスや市内循環バスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布	42.3%	自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの拡充	40.3%	パソコン・スマートフォンなどへの時刻表、乗継情報などの提供	34.3%	商業施設などと連携した公共交通割引チケットなどの発行	28.0%	バス停の待合環境（ベンチ・屋根）整備	27.7%	駅やバス停付近への駐車場・駐輪場の設置	21.7%	鉄道やバス、バス同士の乗継時間の短縮や運賃割引の拡充	16.7%	市のホームページや広報紙などへの運行情報案内の掲載	12.3%	保育園児・幼稚園児や小学生・中学生、高齢者を対象としたバスの乗り方教室などの開催	6.7%	バス車両のバリアフリー化やデザインの工夫	6.0%	その他	5.7%	無回答	4.7%	公共交通を利用した通勤の呼びかけや「ノーマイカーデー」の実施	3.7%	公共交通に関する意識向上を図るための地域懇談会やシンポジウムなどの開催	1.7%
施策	割合																														
路線バスや市内循環バスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布	42.3%																														
自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの拡充	40.3%																														
パソコン・スマートフォンなどへの時刻表、乗継情報などの提供	34.3%																														
商業施設などと連携した公共交通割引チケットなどの発行	28.0%																														
バス停の待合環境（ベンチ・屋根）整備	27.7%																														
駅やバス停付近への駐車場・駐輪場の設置	21.7%																														
鉄道やバス、バス同士の乗継時間の短縮や運賃割引の拡充	16.7%																														
市のホームページや広報紙などへの運行情報案内の掲載	12.3%																														
保育園児・幼稚園児や小学生・中学生、高齢者を対象としたバスの乗り方教室などの開催	6.7%																														
バス車両のバリアフリー化やデザインの工夫	6.0%																														
その他	5.7%																														
無回答	4.7%																														
公共交通を利用した通勤の呼びかけや「ノーマイカーデー」の実施	3.7%																														
公共交通に関する意識向上を図るための地域懇談会やシンポジウムなどの開催	1.7%																														
効果的な利用促進策																															
	総人口は30.2%と2番目に多く、都市機能は地区の南側に集中しています。地域公共交通は、鉄道や高速バス、路線バス及び市内循環バス「ヨッピー」が運行中で、公共交通空白地域（人口ベース3.9%）は概ねカバーしています。 外出する時の困り具合は36.0%と、市平均を下回っていますが、困ることが多い行き先は「四街道駅及び周辺（66.7%）」「市外（35.2%）」「イトーヨーカドー四街道店（19.4%）」の順で多く、地区内だけでなく、広域アクセスに配慮した地域公共交通ネットワークの充実が必要です。 また、市内循環バス「ヨッピー」は、公共交通空白地域の解消に資するよう、収益性と利便性に配慮した運行サービスの改善が必要です。 さらに、公共交通の利用意向として「四街道駅及び周辺（50.3%）」「イトーヨーカドー四街道店（37.3%）」「四街道市役所・文化センター周辺（28.0%）」の順で多く、四街道駅及び四街道市役所周辺へのアクセス改善を図るとともに、運行情報の提供など利用促進に取り組むことが必要です。																														
地区別地域公共交通の課題																															

地区別公共交通カルテ④ - 千代田地域 -

地区概況

- 市の北東に位置し、地区人口22,127人で、総人口の23.0%を占める。

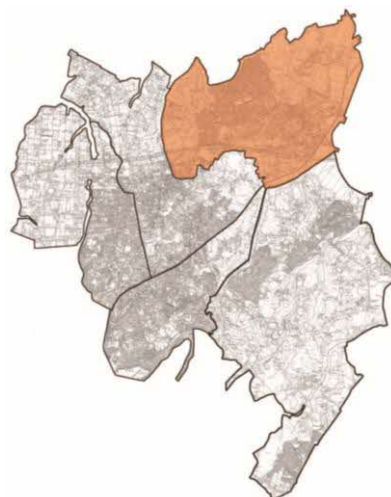
【令和6年10月住民基本台帳】

- 個人の自家用車所有率は80.4%（うち自分が自由に使える自動車を所有68.1%）であり、自家用車を持っていない方は18.9%である。

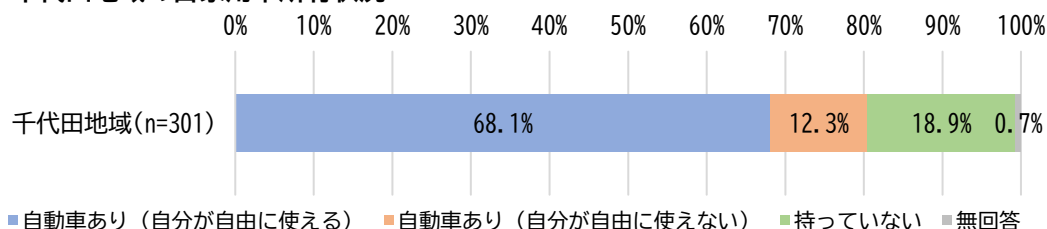
【市民アンケート調査より】

- 自動車運転免許証の保有率は77.4%、バイク・原付運転免許証の保有率は1.3%、免許証の非保有率は19.9%（うち返納済は4.0%）である。

【市民アンケート調査より】



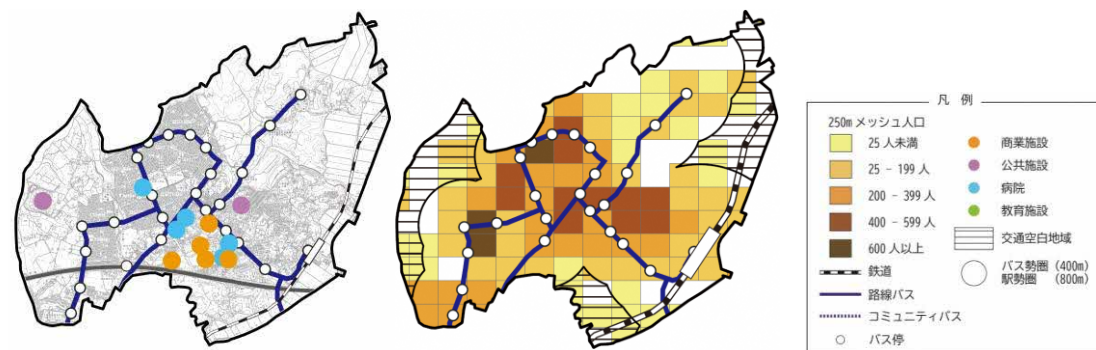
■ 千代田地域の自家用車所有状況



都市機能立地状況

<主な施設配置図>

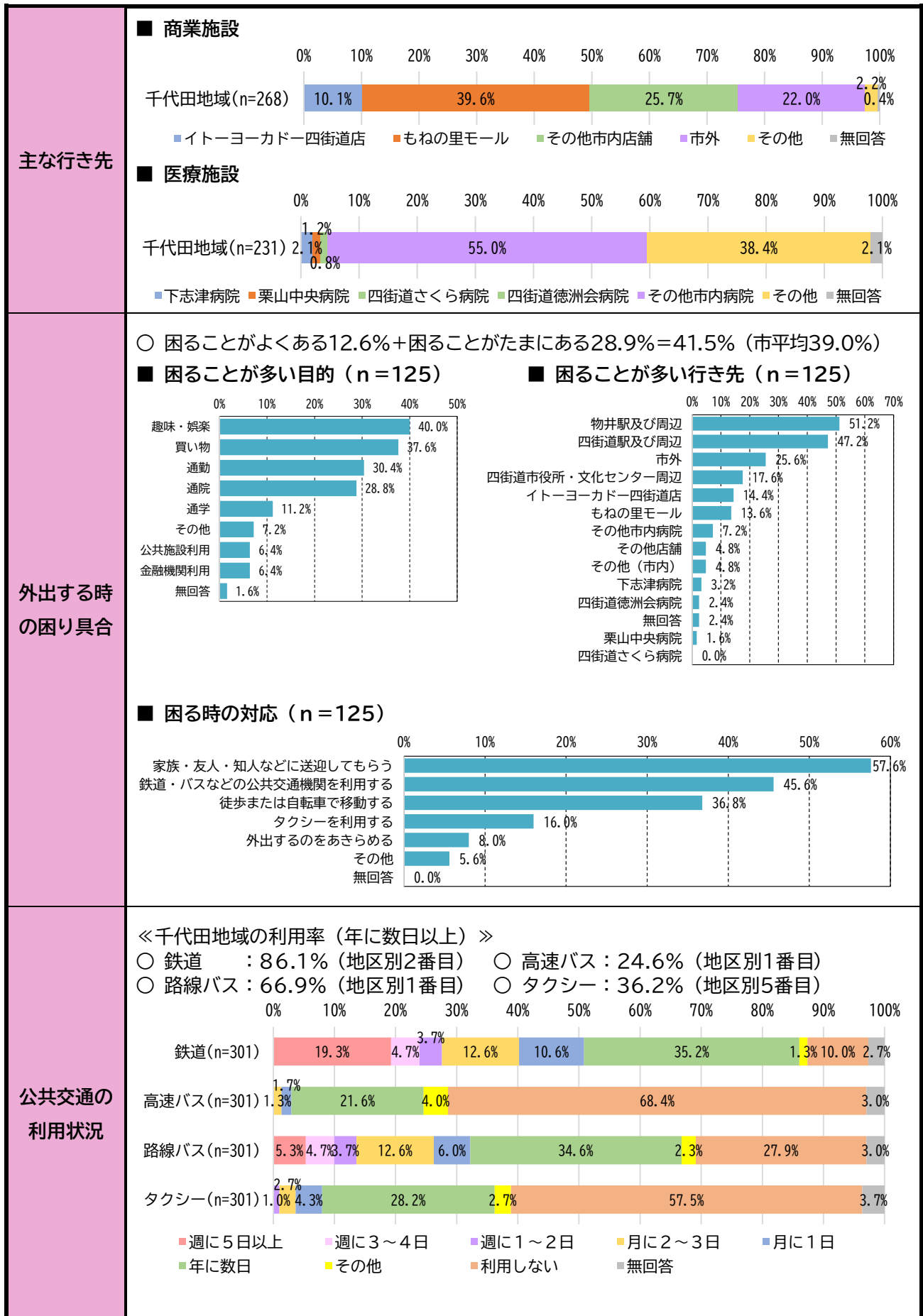
<人口分布と交通空白地域>



- 商業施設 … 三徳、ケースデンキ、ホームプラザナフコ、コメリパワー、もねの里モール
- 医療施設 … 千代田クリニック、もねの里クリニック、もねの里こどもクリニック、ものいトータルクリニック、ライオン皮フ科
- 公共施設 … 千代田公民館、四街道市営霊園

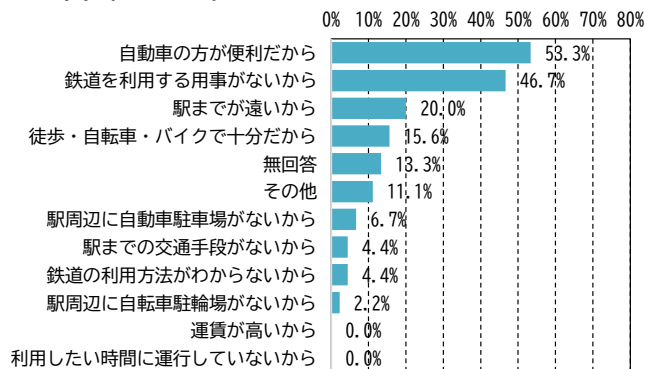
公共交通

- JR総武本線・成田線（物井駅）
- 高速バス（羽田線、東京線）
- 路線バス（中台線、亀崎線、物井池花線、千代田団地線、臼井線、バードヒル池花線）
- グリーンスローモビリティ

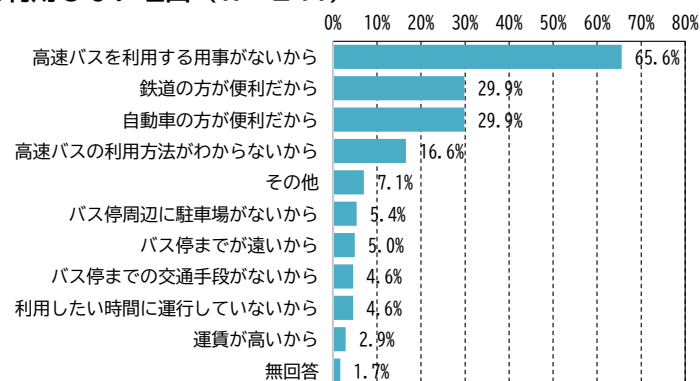


公共交通を
利用しない
理由

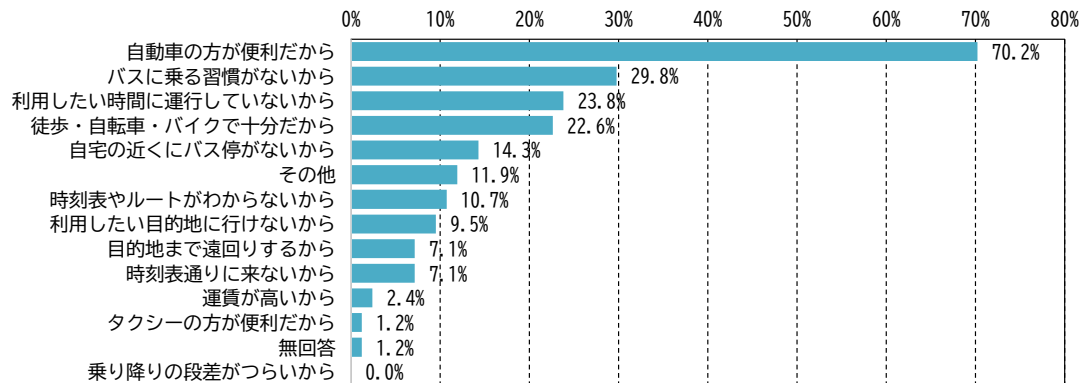
■ 鉄道を利用しない理由（n = 45）



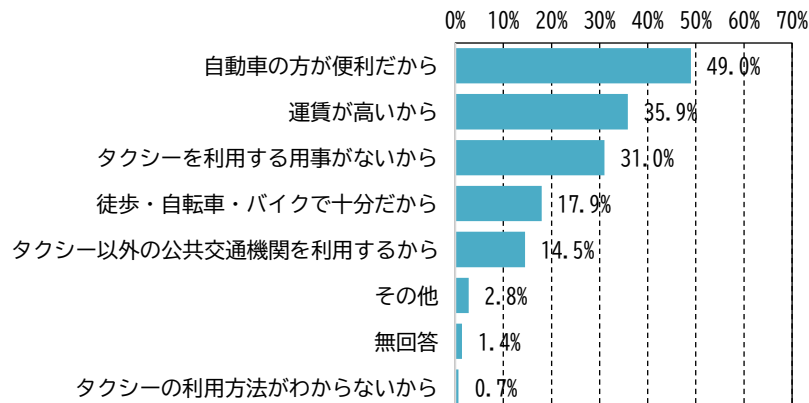
■ 高速バスを利用しない理由（n = 241）

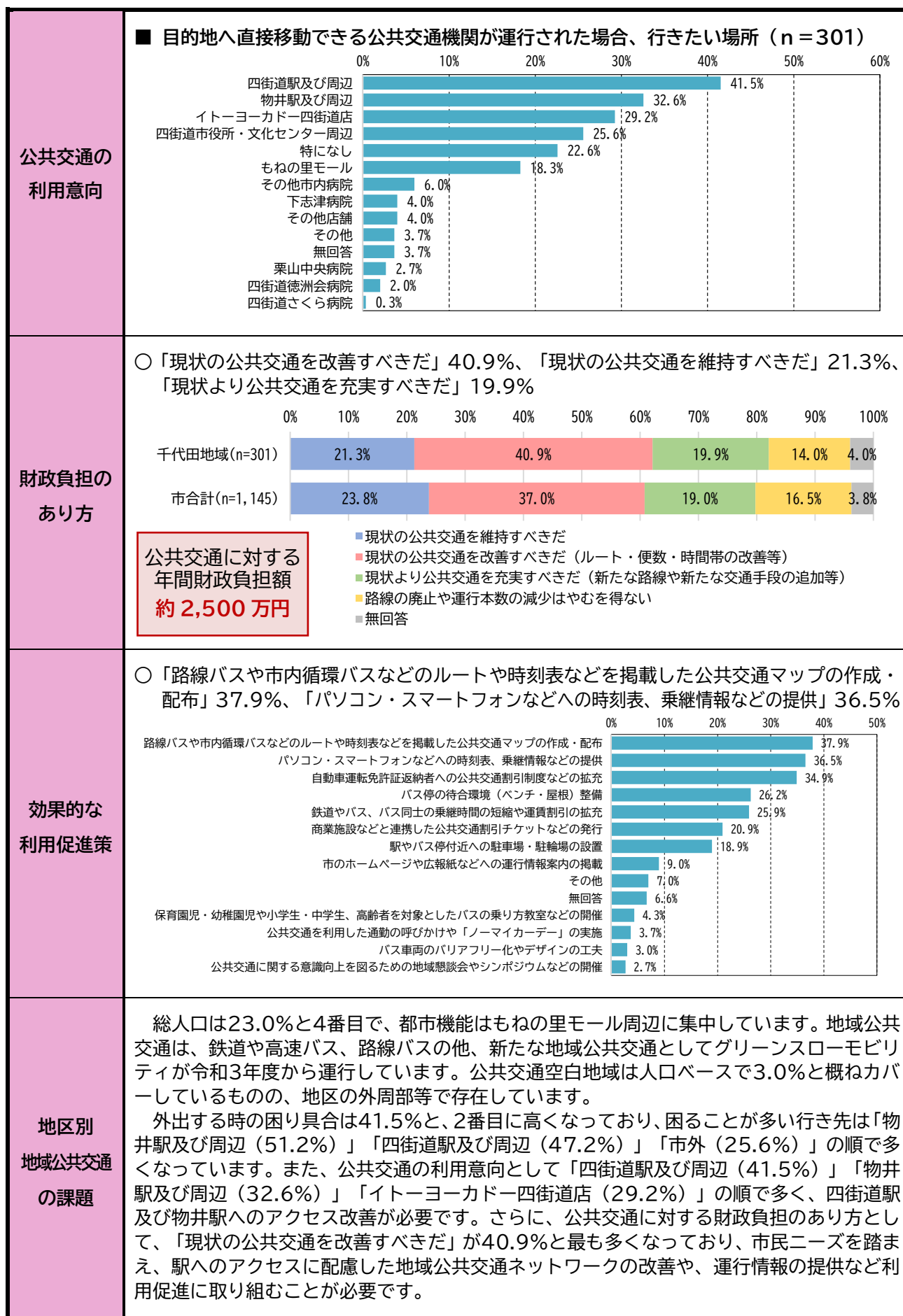


■ 路線バスを利用しない理由（n = 84）



■ タクシーを利用しない理由（n = 145）





地区別公共交通カルテ⑤

－ 旭地域 －

地区概況

- 市の南東に位置し、地区人口15,098人で、総人口の15.7%を占める。

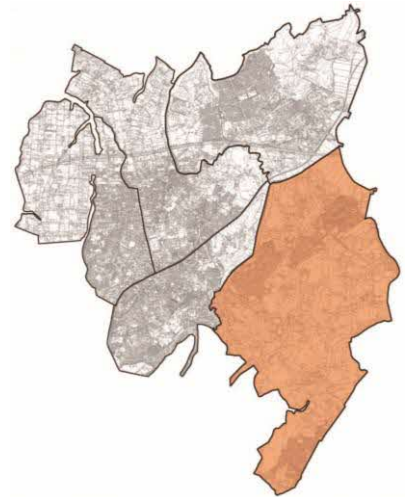
【令和6年10月住民基本台帳より】

- 個人の自家用車所有率は79.6%（うち自分が自由に使える自動車を持63.9%）であり、自家用車を持っていない方は20.4%である。

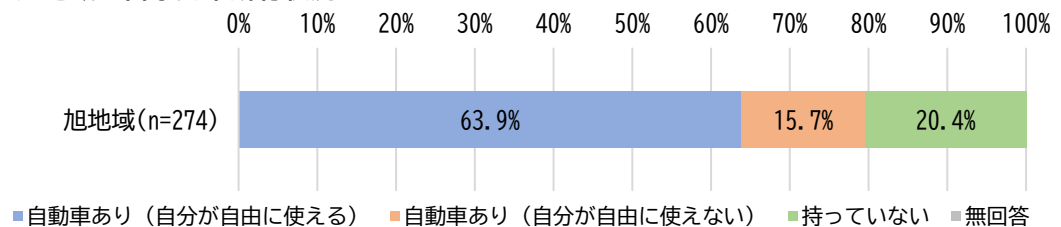
【市民アンケート調査より】

- 自動車運転免許証の保有率は77.7%、バイク・原付運転免許証の保有率は0.4%、免許証の非保有率は21.2%（うち返納済は7.3%）である。

【市民アンケート調査より】



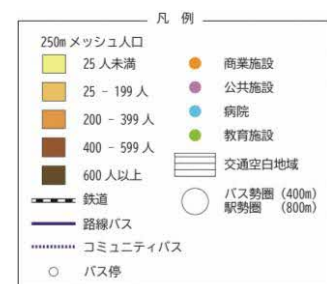
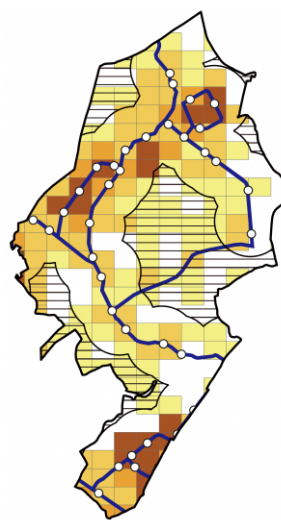
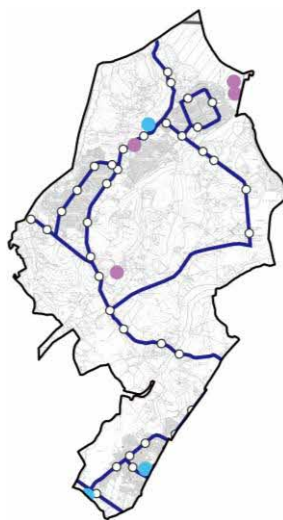
■ 旭地域の自家用車所有状況



都市機能立地状況

<主な施設配置図>

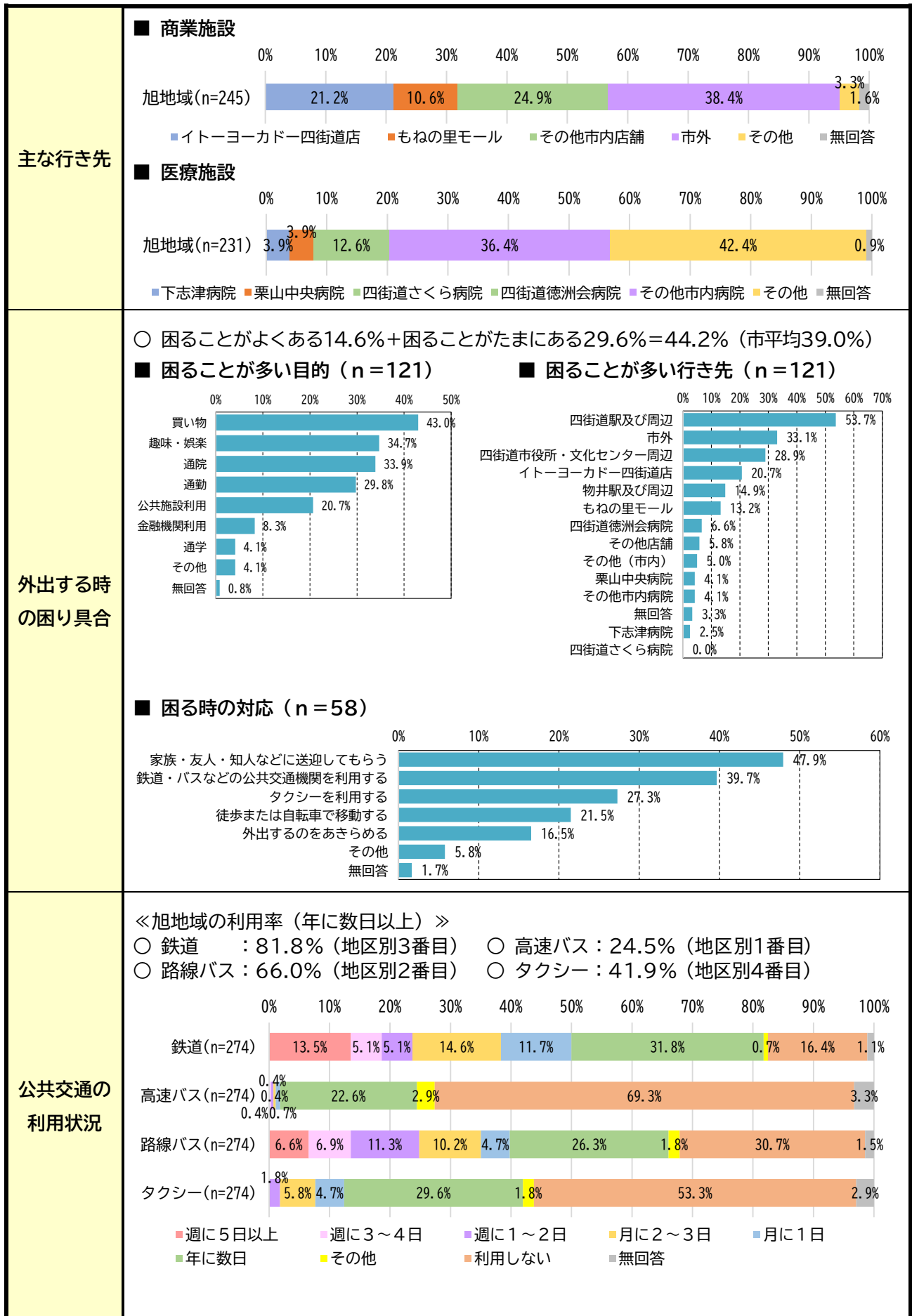
<人口分布と交通空白地域>



- 医療施設 … 四街道徳洲会病院、千葉四街道胃腸肛門内視鏡クリニック、陽光医院
- 公共施設 … 旭公民館、クリーンセンター、四街道市温水プール、四街道市総合公園

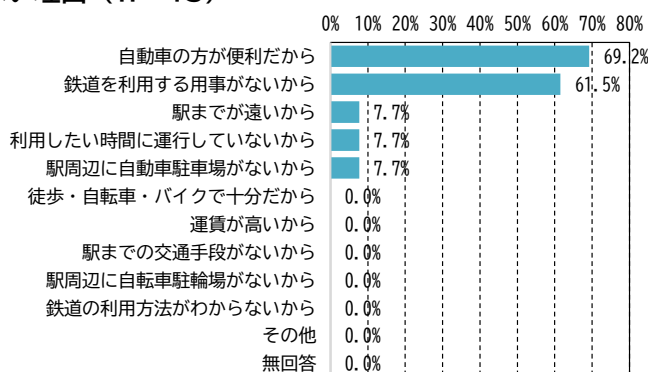
公共交通

- 路線バス（中台線、総合公園線、みそら団地線、吉岡線、つ01（都賀線））

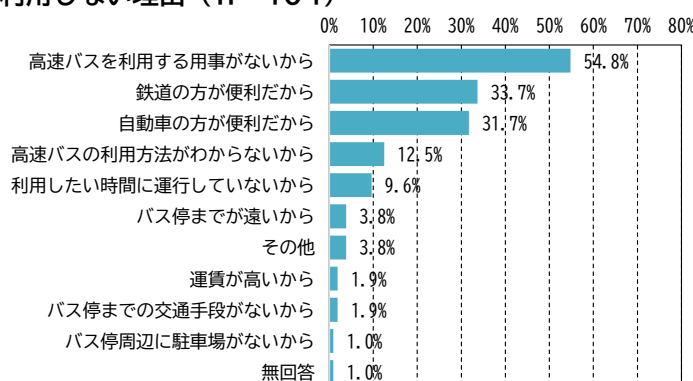


公共交通を
利用しない
理由

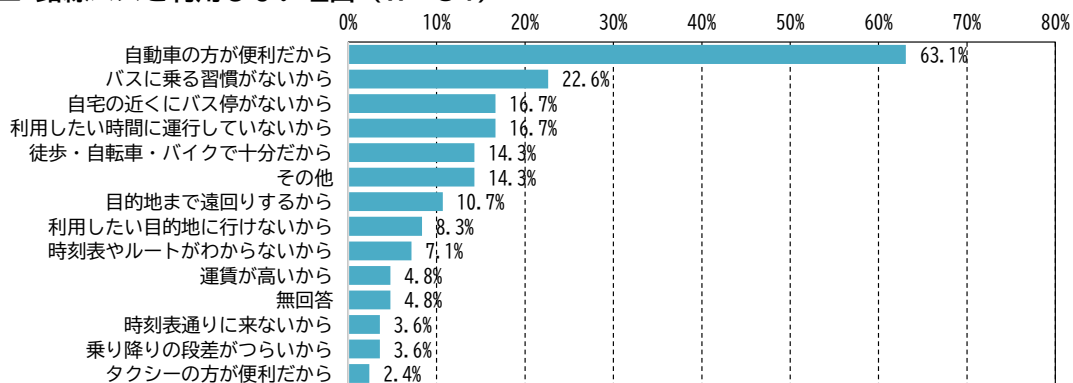
■ 鉄道を利用しない理由（n=13）



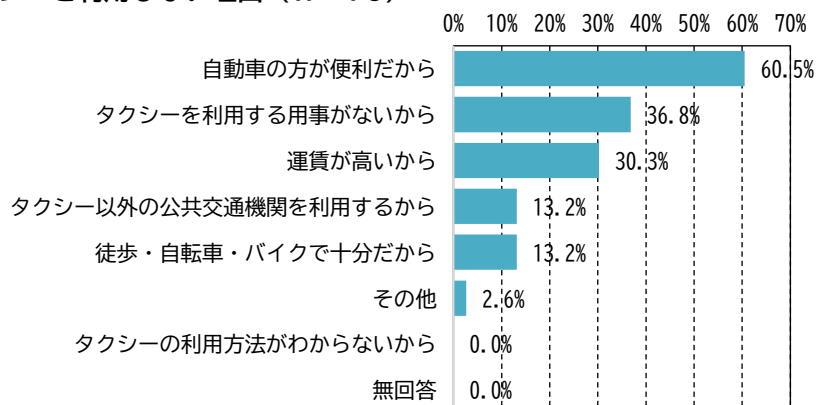
■ 高速バスを利用しない理由（n=104）



■ 路線バスを利用しない理由（n=84）



■ タクシーを利用しない理由（n=76）



公共交通の利用意向	■ 目的地へ直接移動できる公共交通機関が運行された場合、行きたい場所（n=274）
財政負担のあり方	○ 「現状の公共交通を改善すべきだ」36.9%、「現状の公共交通を維持すべきだ」21.9%、「路線の廃止や運行本数の減少はやむを得ない」20.8% 公共交通に対する 年間財政負担額 約2,500万円
効果的な利用促進策	○ 「自動車運転免許返納者への公共交通割引制度などの拡充」35.4%、「路線バスや市内循環バスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布」35.0%
地区別地域公共交通の課題	総人口は15.7%と最も少なく、都市機能は医療施設や公共施設が点在しています。地域公共交通は、路線バスのみで、公共交通空白地域は人口ベースで4.2%ですが、地区の外周部や上野など中央部等で大きく存在しており、これら地域の解消が必要です。 外出する時の困り具合は44.2%と、最も高くなっており、困ることが多い行き先は「四街道駅及び周辺（53.7%）」「市外（33.1%）」「四街道市役所・文化センター周辺（28.9%）」の順で多く、広域アクセスに配慮した地域公共交通ネットワークの充実が必要です。 また、公共交通の利用意向として「四街道駅及び周辺（44.9%）」「イトーヨーカドー四街道店（34.7%）」「四街道市役所・文化センター周辺（32.1%）」の順で多く、四街道駅及び四街道市役所周辺へのアクセス改善が必要です。さらに、効果的な利用促進策として、「自動車運転免許返納者への公共交通割引制度などの拡充」が35.8%と最も多く、運賃制度の見直しや運行情報の提供など利用促進に取り組む必要があります。